

平成29年度

草 加 の 教 育



新田中学校区研究発表会



平成塾合同発表会

草加市教育委員会

草 加 市 民 憲 章

わたくしたち草加市民は、綾瀬の流れと松原をシンボルとして、おおきな夢をはぐくんできました。

人の心をたいせつにし、自然をいかした住みよいふるさとをめざして、ここに憲章をさだめます。

わたくしたちは

- 1 平和を愛し、文化的で、
ゆたかなまちをつくります。
- 1 きまりを守り、安全で、
せいけつなまちをつくります。
- 1 健康に努め、親切で、
さわやかなまちをつくります。

(昭和63年11月1日制定)



市章 (昭和33年11月1日制定)

「笑顔かがやく草加の教育」をめざして

教育長 高木 宏幸

教育を取り巻く環境は年を追うごとに大きく変わり、多様化・複雑化していく課題への新たな取組が次々と求められています。

草加市教育委員会では、「生きる力を共に教え育てる草加の教育」を基本理念として、第二次草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」を策定し、平成28年4月から様々な施策を展開してきました。

当該計画の2年目に当たる平成29年度は、各施策の成果を着実なものとするための重要な年度です。

特に、今年度は子ども教育において幼保小中を一貫した教育の実施を目指し、草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラムを完成させ、各校・各園で0歳から15年間の子どもの育ちに応じた保育・教育が行えるよう支援します。

生涯学習では、「生きる力をはぐくむ学縁都市そうか」を将来像として掲げ、第三次生涯学習基本計画をもとに、地域に根ざした生涯学習活動の推進体制の充実を図ります。

また、国指定名勝である「おくのほそ道の風景地 草加松原」は、最寄駅名の改称に伴い、今まで以上にその名が広く知れわたることになりました。これにより、草加松原や歴史民俗資料館への更なるアクセス数の増加が期待されるほか、文化財の将来にわたる保存活用と継承が課題となりますので、文化財保護施設の拠点である資料館の整備活用を図りながら、より心豊かで魅力あるまちづくりに努めてまいります。

さらに、一人ひとりの基本的人権が尊重され、平和で住み良い社会を実現するため、学校における様々な機会をとおして、児童生徒の人権感覚や人権意識を養うとともに、各社会教育施設において、時代に合った人権課題を題材とした学習機会を市民の皆様提供することにより、人権教育を推進します。

今年度も、当該計画で掲げた基本理念の実現のため、関係する機関等との連携を密にし、家庭や地域の皆様方のご理解とご支援をいただきながら、本市の教育の充実、発展に努めてまいりたいと存じます。

ここに発行する『草加の教育』は、教育委員会が取り組む施策をまとめたものであり、今年度の事業内容や、昨年度の実績等を掲載しています。本市教育行政の全体像を皆様にご高覧いただき、幅広くご活用いただければ幸いです。

目 次

草加市民憲章・市章

「笑顔かがやく草加の教育」をめざして

教育委員会教育長・教育長職務代理人・教育委員・
教育委員長

歴代教育委員会教育委員長・教育委員・教育長

I 教育行政・教育財政

平成29年度草加市教育委員会教育方針 …… 7

平成29年度草加市教育行政重点施策 …… 9

平成29年度教育予算 …… 10

教育委員会の組織 …… 11

教育委員会の事務分掌 …… 11

II 子ども教育

「子ども教育」の連携を推進 …… 17

入学準備金・奨学資金の貸付制度 …… 18

外国人学校児童生徒保護者補助金制度 …… 18

計画的な学校教育施設整備の推進 …… 19

自然教室 …… 19

教育施設の紹介 …… 20

学校図書館教育 …… 21

国際理解教育 …… 21

情報教育 …… 22

環境教育 …… 23

教職員の研究・研修 …… 24

生徒指導 …… 25

教育相談 …… 26

特別支援教育 …… 28

学校給食 …… 31

学校保健 …… 32

市立小学校の紹介 …… 34

市立中学校の紹介 …… 40

III 生涯学習

地域の力をはぐくむ生涯学習活動の推進 …… 45

文化遺産の保存と活用 …… 46

生涯学習施設の紹介 …… 47

草加市立中央図書館 …… 50

IV 人権教育

人権教育 …… 55

V 資料編

草加の教育の沿革 …… 59

草加市の指定文化財 …… 64

教育委員会関係附属機関委員 …… 68

学校教育関係等一覧 …… 70

児童・生徒数等の推移 …… 71

教職員の年齢構成・男女比 …… 72

学校概要 …… 73

小・中学校施設状況 …… 74

教育委員会教育長・教育長職務代理者・教育委員・教育委員長

(平成29年4月1日現在)

氏名	教育長	教育長職務代理者	教育委員	教育委員長
	在任期間	在任期間	任期	在任期間
たかぎ ひろ ゆき 高木 宏 幸	H23. 4. 1～H27. 3.31 H27. 4. 1～H30. 3.31		H23. 4. 1～H27. 3.31	
むら た よし かず 村 田 悦 一		H27. 4. 1～H28. 3.31 H28. 4. 1～H28. 9.30 H28. 10. 1～H29. 3.31 H29. 4. 1～H30. 3.31	H23. 4. 1～H24. 9.30 H24.10. 1～H28. 9.30 H28.10. 1～H32. 9.30	H26. 4. 1～H27. 3.31
い で けんじろう 井 出 健治郎			H17.10. 1～H18.12.31 H19. 1. 1～H22.12.31 H23. 1.25～H27. 1.24 H27. 1.25～H31. 1.24	H21.10. 1～H22. 9.30 H22.10. 1～H22.12.31 H23. 1.25～H24. 1.24 H24. 1.25～H25. 1.24
お ぎわ なお ひさ 小 澤 尚 久			H24. 1. 1～H27.12.31 H28. 1. 1～H31.12.31	
か とう ゆ み 加 藤 由 美			H24.10. 1～H28. 9.30 H28.10. 1～H32. 9.30	
うだ が わ く み こ 宇田川 久美子			H26. 4. 1～H30. 3.31	

歴代教育委員会教育委員長・教育委員・教育長

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行後)

氏名	教育委員長		教育委員		教育長	
	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日
藤 波 武 義	S32. 1. 9	S35. 9. 9	S31.10. 1	S35. 9.30		
岡 野 仁右衛門			S31.10. 1	S42.12.31		
浅 古 光 藏			S31.10. 1	S43. 9.30		
池 田 俊 三	S44. 1. 9	S45. 1. 8	S31.10. 1	S48. 9.30		
	S48. 1.10	S48. 9.30				
田 中 捷一郎			S31.10. 1	S46. 9.30	S31.10. 1	S46. 9.30
中 島 長太郎	S36. 1. 9	S43.12.19	S35.12.20	S43.12. 9		
	S45. 1. 9	S45. 9.30	S43. 4. 1	S45. 9.30	S47. 1.14	S49.10. 4
宮 本 忠 藏	S45.10.24	S46. 1.11	S45.10. 5	S49.10. 4	S50. 1. 9	S53.12.31
			S50. 1. 1	S53.12.31		
	S46. 1.12	S47. 1. 7	S43.12.25	S47.12.24		
上 山 良 一	S49. 1.11	S52. 1.10	S48. 3. 1	S52. 2.28		
	S52. 1.22	S52. 2.28				
二階堂 重 信	S47. 1. 8	S47.12.24	S43.12.25	S47.12.24		
倉 林 誠一郎			S46.12.24	S50.12.23		
加 藤 正 一			S48. 3. 1	S49.12.31		
若 旅 吉一郎			S49. 1. 1	S52.12.31		
藤 盛 正 規	S52. 4.23	S53. 4.22	S51. 1. 1	S54.12.31		
佐々木 正 勇			S51. 6.21	S55. 6.20		
野 口 康 司	S53. 4.23	S54. 3.31	S53. 1. 1	S56.12.31	S54. 4. 1	S56.12.31
小 澤 博	S54. 4. 1	S56.12.31	S53. 4. 1	H5. 6.30	S57. 1. 1	H5. 6.30
藤 波 壽	S59. 1. 1	S61.12.31	S54. 7. 1	S62. 6.30		
竹 澤 義 郎	S62. 1. 1	S62.12.31	S55. 1.17	S63. 1.16		
浅 古 正 三	S57. 1. 1	S58.12.31	S55. 8.12	S63. 8.11		
小 山 利 男	S63. 1. 1	H1. 12.31	S57. 4. 1	H2. 3.31		
渦 尾 延之助	H2. 1. 1	H2. 12.31	S62.10. 1	H3. 9.30		
桂 保 平			S63. 4. 1	H4. 3.31		
鈴 木 昭 平	H3. 1. 1	H4. 9.30	S63.10. 1	H4. 9.30		
	H4. 10. 1	H6. 3.31	H2. 4. 1	H10. 3.31		
高 野 光 由	H8. 1.10	H10. 3.31				
藤 井 光 男	H6. 4. 1	H7. 12.31	H4. 1. 1	H7. 12.31		
神 白 高 子			H4. 6. 1	H12. 5.31		
定 道 成 美			H4. 10. 1	H8. 9.30		
常 田 種 雄			H5. 10.15	H10. 3.31	H 5.10.15	H10. 3.31
谷古宇 康 治	H10. 4. 1	H11.12.31	H8. 1. 1	H11.12.31		
口 田 勝 美			H8. 10. 1	H15. 3.31		
鳥谷部 志乃恵			H12. 7. 1	H16. 6.30		
	H12. 1.19	H14. 1.18	H11. 1. 1	H17. 4.22		
牛 山 信 康	H17. 1.19	H17. 4.22				
若 林 誠 満	H14. 1.19	H17. 1.18	H12. 1. 1	H19.12.31		
宮 嶋 昭 雄			H10. 4. 1	H22. 3.31	H10. 4.16	H22. 3.31
國 嶋 正 和	H19. 5.24	H21. 9.30	H16.10. 1	H23. 3.31	H22. 4. 1	H23. 3.31
岩 永 嘉 仁			H20. 1. 1	H23.12.31		
浜 本 悦 子	H17. 5.24	H19. 5.23	H15. 4. 1	H24. 9.30		
西 田 敏 子	H25. 1.25	H26. 3.31	H22. 4. 1	H26. 3.31		

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、平成26年度をもって、教育委員長の職は廃止されました。

I 教育行政・教育財政

平成29年度草加市教育委員会教育方針

教育は人格の完成を目指すとともに、心身ともに健康な国民の育成を期して行うことを目的とし、あらゆる機会にあらゆる場所で実現することが求められています。

この目的を達成するために、第二次草加市教育振興基本計画においても「生きる力を共に教え育てる草加の教育」を基本理念とし、学校・家庭・地域が互いに信頼し、絆を深め、連携して支え合い、「笑顔かがやく草加の教育」を目指します。

次代を担う子どもたちにとって必要な「生きる力」を支える確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和を図るとともに、子どもたちのよさや可能性が発揮され、一人ひとりを大切にされた信頼される学校教育を推進します。また、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校（以下「幼保小中」という。）と家庭・地域が連携し、地域社会が一体となって0歳から15歳までのすべての子どもの育ちをともに支える、子ども教育の連携を更に推進していきます。

また、市民一人ひとりが生涯にわたって主体的に学習する機会とその成果を発揮できる学習環境づくりを推進します。

学力の向上を最重要課題ととらえ、「アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）」の視点も踏まえながら、学校における日々の授業改善を進めます。全国・県・市・の学力・学習状況調査等の各種調査を活用し、小中の連携を図りながら、家庭・地域と一体となって児童生徒が知識・技能、思考力・判断力・表現力を含めた確かな学力を身に付ける取組を更に進めます。

幼保小中の連携を図りながら、学校の教育活動全体を通じた道徳教育を推進することを始め、いじめ、不登校などに対応する教育相談、問題行動の予防や解決を図るため積極的な生徒指導の充実を図ります。

生涯にわたって楽しく明るい生活を営む態度と心を育てるために、元気に運動し、バランスのよい食事や十分な睡眠等の基本的な生活習慣を身に付けた健康で体力のある児童生徒の育成を図ります。

0歳から15歳までの子どもの育ちをともに支え、目指す「草加っ子」（15歳の姿）を実現するため、これまでの交流・連携と子ども教育プログラム実施等の成果をいかし、「第二次草加市こども教育連携推進基本方針」・

行動計画」に基づき、全中学校区で小中一貫教育を実施するとともに、モデル校区においては幼保小中を一貫した教育を実施します。

さらに、教育の実効性を高めるため、家庭・地域とも十分に連携し、家庭教育への支援を図るとともに、施策の周知・広報を積極的行います。

障がいのある児童生徒一人ひとりのよさや可能性を最大限に発揮できるよう、特別支援教育に関する正しい理解を一層広めることに努めるとともに、特別支援教育担当教員の育成を図り指導力及び専門性の向上に取り組みます。また、特別支援学校が担っているセンター的機能の活用を中心に、県立草加かがやき特別支援学校等と幼保小中の連携を深め、さらに、関係諸機関との連携も一層推進するなど、教育支援体制整備に努め、特別支援教育の更なる充実を目指します。

老朽化した小・中学校の校舎・屋内運動場等について、学習環境の改善に向け、大規模改造やトイレの改修、非構造部材耐震化など各種整備を順次進めます。

学校予算のより効果的かつ効率的な執行を推進し、特色ある学校経営を支援します。

市民一人ひとりが学ぶことをとおして「生きる力」をはぐくみ、人と人、人と地域が新たな絆をつくりだしていくことができるまち、「学^{がく}縁^{えん}都市そうか」を推進します。

第三次生涯学習基本計画をもとに、市民との協働による多様な学習機会の創出、学習情報の提供を行うことによって生涯をとおした学習活動の推進体制の充実を図ります。

中央図書館及び公民館図書室等の蔵書の整備を図るとともに、草加市子ども読書活動推進計画を策定し、図書等の利用拡大を推進します。

国指定名勝である「おくのほそ道の風景地 草加松原」を始めとする文化財の保存活用や今後の歴史民俗資料館の整備活用を図り、文化的で魅力あるまちづくりを推進します。

一人ひとりの基本的人権が尊重され、平和で住み良い社会を実現するため、人権教育を推進します。

これからも教育の目的が十分達せられよう、教育行政の課題をよりの確に把握し、子どもたち、学校、家庭、地域で市民一人ひとりが「笑顔かがやく草加の教育」を目指して、積極的に施策に取り組みます。

平成29年度草加市教育行政重点施策

草加市教育委員会は、第四次草加市総合振興計画第一期基本計画及び第二次草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」を踏まえ、『生きる力を共に教え育てる草加の教育』の実現を目指し、教育行政重点施策を定めています。

○ 生きる力を育てる子ども教育の推進

1 一人ひとりのよさや可能性が発揮される

学校教育の推進

(1) 学ぶ力を伸ばす児童生徒の育成

- ◇ 草加っ子「生き生きプラン」推進事業
- ◇ 土曜学習推進事業
- ◇ 情報教育環境整備事業（小中学校）
- ◇ 英語教育・国際理解教育推進事業
- ◇ 教職員研修推進事業
- ◇ 学校教育補助員配置事業
- ◇ 教科書等整備事業
- ◇ 学力向上推進事業
- ◇ 教材教具整備事業（小中学校）
- ◇ 学校図書充実事業（小中学校）

(2) 心豊かな児童生徒の育成

- ◇ 教育相談充実事業
- ◇ 生徒指導推進事業
- ◇ いじめ撲滅推進事業
- ◇ 音楽教育推進事業
- ◇ 自然教室推進事業
- ◇ 豊かな心推進事業

(3) 健康でたくましい児童生徒の育成

- ◇ 学校体育推進事業
- ◇ 中学校部活動推進事業
- ◇ 就学時健康診断等事業
- ◇ 学校保健安全衛生・各種健康診断事業（小中学校）
- ◇ 学校医等の公務災害補償事務
- ◇ 放射線対策事業
- ◇ 学校給食推進事業（小中学校）
- ◇ 学校給食管理運営事業

(4) きめ細かな特別支援教育の充実

- ◇ 特別支援教育充実事業
- ◇ 特別支援教育就学奨励費補助事業（小中学校）

(5) 一人ひとりに応じた就学支援の充実

- ◇ 学校就学援助事業（小中学校）
- ◇ 入学準備金・奨学資金貸付事業
- ◇ 外国人学校児童生徒保護者補助事業

2 安全安心な教育環境整備の推進

(1) 計画的な学校教育施設整備の推進

- ◇ トイレ環境改善整備事業（小中学校）
- ◇ 学校施設維持管理事業（小中学校）
- ◇ 学校維持管理運営事業（小中学校）
- ◇ 学校管理備品整備事業（小中学校）
- ◇ エアコン設置事業（小中学校）
- ◇ 非構造部材耐震化事業（小中学校）
- ◇ 校舎等大規模改造事業（中学校）

(2) 魅力ある教育環境の推進

- ◇ 奥日光自然の家管理運営事業

3 学校・家庭・地域の連携の推進

(1) 家庭・地域の教育力の向上

- ◇ 学校応援団推進事業

(2) 組織力をいかした学校経営の推進

- ◇ 学校運営・就学事務事業
- ◇ 学校管理運営事業（小中学校）
- ◇ 特色ある学校経営推進事業（小中学校）

(3) 子ども教育の連携の推進

- ◇ 子ども教育連携推進事業
- ◇ 「草加っ子」を育む子ども教育連携教員配置事業

○ 生きる力をはぐくむ^{がくえん}学縁都市そうかの推進

4 地域の力をはぐくむ生涯学習活動の推進

(1) 生涯をとおした多様な学習機会の充実

- ◇ 生涯学習推進体制整備事業
- ◇ そうか市民大学運営事業
- ◇ 大学公開講座等推進事業
- ◇ 新成人のつどい企画運営事業
- ◇ 子ども大学そうか事業

(2) 生涯学習施設の整備とネットワーク化の推進

- ◇ 公民館等事業
- ◇ 平成塾設置・管理運営事業
- ◇ 栄小学校施設一般開放事業
- ◇ 図書館情報サービス・管理運営事業

(3) 文化遺産の発掘・保存等の計画的継続的な取組の推進

- ◇ 文化遺産の発掘・保存・有効活用推進事業
- ◇ 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の保存・活用推進事業
- ◇ 歴史民俗資料館管理運営事業
- ◇ 歴史民族資料館活用推進事業

○ 人権を尊重しあう教育の推進

5 人権教育の推進

(1) 学校人権教育の推進

- ◇ 学校人権教育推進事業

(2) 社会人権教育の推進

- ◇ 社会人権教育推進事業

平成29年度教育予算

平成29年度一般会計歳出予算（当初）

（単位：千円）

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率（%）
1 議会費	441,430	439,526	1,904	0.4
2 総務費	8,204,729	8,869,193	△ 664,464	△ 7.5
3 民生費	35,664,337	34,658,649	1,005,688	2.9
4 衛生費	5,249,058	5,475,577	△ 226,519	△ 4.1
5 労働費	47,367	45,851	1,516	3.3
6 農林水産業費	73,715	88,487	△ 14,772	△ 16.7
7 商工費	435,052	394,493	40,559	10.3
8 土木費	10,195,615	9,221,880	973,735	10.6
9 消防費	2,426,284	2,283,899	142,385	6.2
10 教育費	5,236,161	4,505,387	730,774	16.2
11 災害復旧費	3	3	0	0.0
12 公債費	5,539,249	5,401,055	138,194	2.6
13 予備費	100,000	100,000	0	0.0
歳出合計	73,613,000	71,484,000	2,129,000	3.0

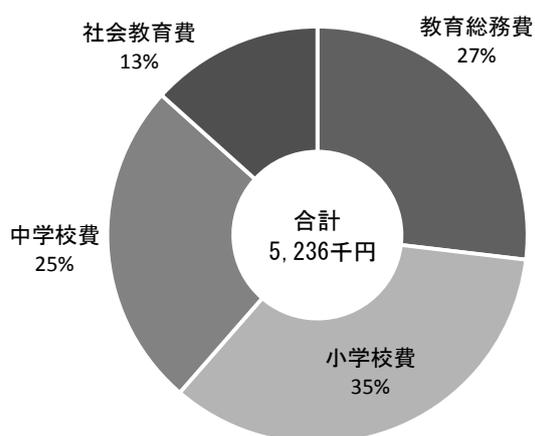
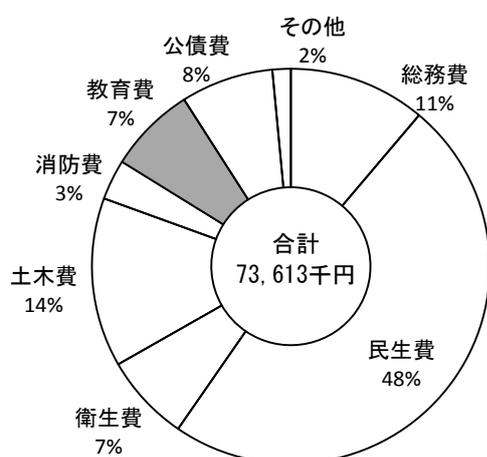
平成29年度教育費内訳（当初）

（単位：千円）

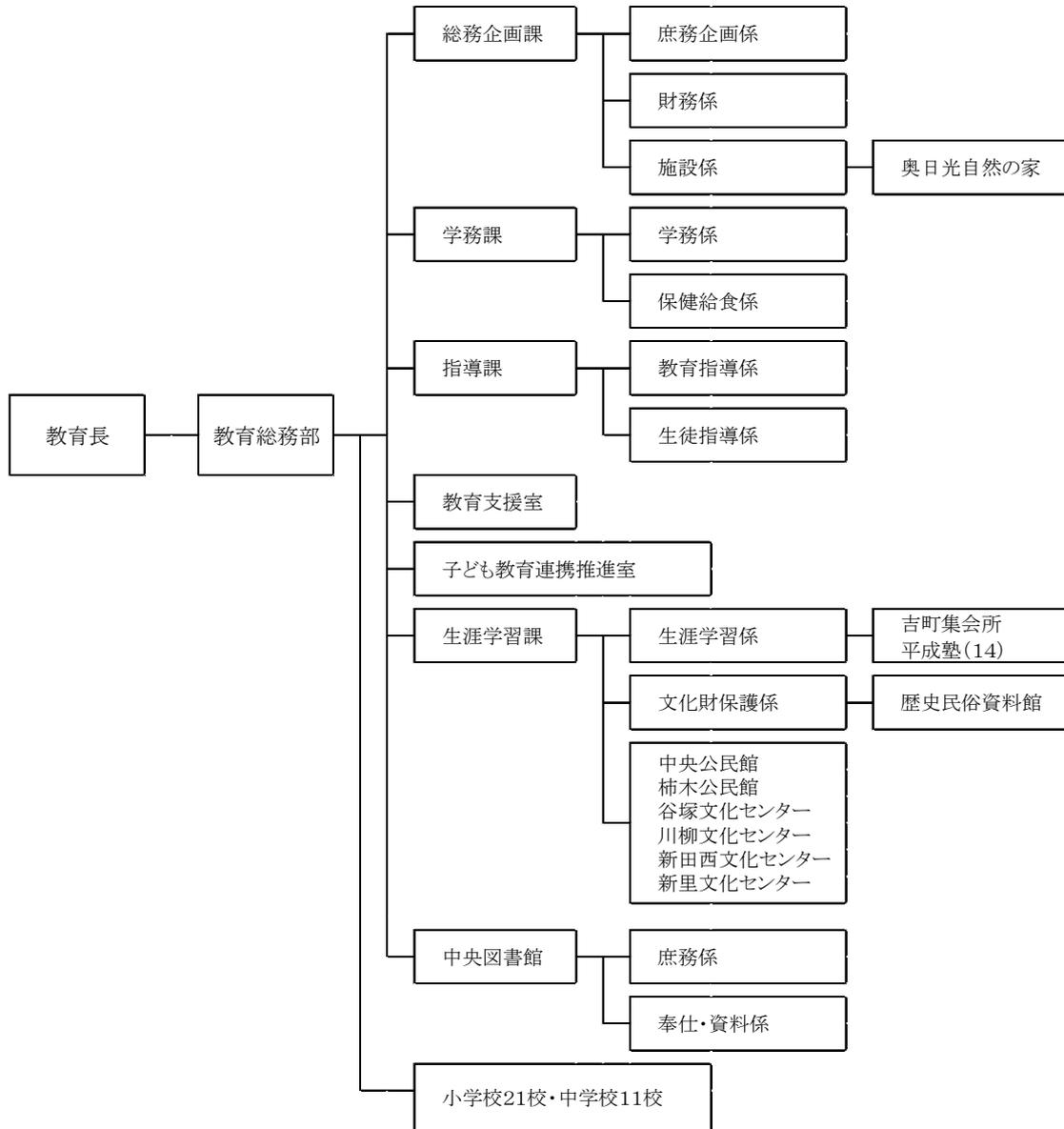
項	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率（%）
1 教育総務費	1,407,723	1,412,362	△ 4,639	△ 0.3
2 小学校費	1,805,758	1,718,459	87,299	5.1
3 中学校費	1,326,638	1,104,397	222,241	20.1
4 社会教育費	696,042	623,740	72,302	11.6
合計	5,236,161	4,858,958	377,203	7.8

○ 平成29年度一般会計歳出予算（当初）の構成

○ 平成29年度教育費（当初）の構成



教育委員会の組織



教育委員会の事務分掌

教育総務部

◎ 総務企画課

○ 庶務企画係

- ・ 教育行政の主要施策の企画、立案、総合調整及び推進に関すること。
- ・ 教育委員会の会議に関すること。
- ・ 教育委員会の秘書事務に関すること。
- ・ 学校の設置及び廃止に関すること。
- ・ 教育委員会規則等の制定及び廃止に関すること。

- 職員（県費負担教職員を除く。）の人事、給与及び服務に関する事。
- 職員（県費負担教職員を除く。）の福利厚生及び研修に関する事。
- 儀式及び表彰に関する事。
- 文書等の配布及び発送に関する事。
- 文書事務の指導に関する事。
- 公印の管理に関する事。
- 教育委員会事務局内の調整に関する事。
- 他の課に属さない事務に関する事。
- その他課の庶務に関する事。

○財務係

- 予算の作成及び調整に関する事。
- 学校予算の配当に関する事。
- 物品の購入、委託その他の契約に関する事。
- 教育財産の統括に関する事。
- 「草加の教育」及び「そうか教育だより」の発行に関する事。
- 教育の調査統計及びその分析に関する事。
- 入学準備金及び奨学資金の貸付けに関する事。
- その他財務に関する事。

○施設係

- 学校施設の維持管理並びに維持管理に係る小規模工事及び修繕に関する事。
- 学校施設の設備の保全及び委託に関する事。
- 奥日光自然の家に関する事。
- 学校施設の整備計画に関する事。
- 学校施設の建設及び大規模改修等に関する事。
- 学校施設の安全に関する事。
- 学校施設の使用許可に関する事。
- その他学校施設に関する事。

◎ 学務課

○学務係

- 県費負担教職員の服務及び人事に関する事。
- 学級編成及び児童生徒数の管理に関する事。
- 学齢児童生徒の就学、入学、転学及び退学に関する事。
- 学齢簿の編製及び保管に関する事。
- 要保護・準要保護児童生徒の援助費に関する事。
- 通学区域の設定及び改廃に関する事。
- 学校の運営の基本的事項に関する事。
- 学校基本調査に関する事。

- 学校評価に関すること。
- その他課の庶務に関すること。

○保健給食係

- 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
- 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関すること。
- 児童生徒及び教職員の保健安全に関すること。
- 学校保健衛生の計画及び推進に関すること。
- 児童等災害対策基金に関すること。
- 学校給食の計画及び推進に関すること。
- 学校給食用備品の維持管理に関すること。

◎ 指導課

○教育指導係

- 教職員研修及び各種教育研究会に関すること。
- 教科等の指導に関すること。
- 教育課程の編成及び管理に関すること。
- 教育研究奨励に関すること。
- 学校教育調査に関すること。
- 安全教育等に関すること。
- 国際理解教育の推進に関すること。
- 情報教育の推進に関すること。
- 環境教育の推進に関すること。
- 進路指導に関すること。
- 教科用図書採択に関すること。
- 教科用図書無償給与事務に関すること。
- 校外行事等に関すること。
- 学校における人権教育に関すること。
- 児童生徒の事故に関すること。
- その他課の庶務に関すること。

○生徒指導係

- 生徒指導に関すること。

◎ 教育支援室

- 特別支援教育に関すること。
- 教育相談に関すること。
- その他室の庶務に関すること。

◎ 子ども教育連携推進室

- 幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校の連携の推進に関すること。

- 幼児期の教育に関すること。
- 家庭教育への支援に関すること。

◎ 生涯学習課

○生涯学習係

- 生涯学習の企画及び推進に関すること。
- 生涯学習に係る情報の収集及び提供並びに調査研究に関すること。
- 社会教育施設に関すること。
- 社会教育機関の相互調整及び社会教育関係団体の育成に関すること。
- 生涯学習における人権教育に関すること。
- 新成人のつどいに関すること。
- 栄小学校施設の一般使用に関すること。
- その他課の庶務に関すること。

○文化財保護係

- 文化財の保護に関すること。
- 歴史民俗資料館に関すること。
- 市史の刊行に関すること。
- 歴史資料として重要な公文書等の調査、収集及び保存に関すること。
- 公文書館の整備推進に関すること。

◎ 中央図書館

○庶務係

- 図書館運営に関すること。
- 施設管理に関すること。
- 多目的ホールの一般使用に関すること。
- その他図書館の庶務に関すること。

○奉仕・資料係

- 図書館資料の選定、整理及び保存に関すること。
- 郷土資料、寄贈等の資料の受入保管に関すること。
- その他図書館資料に関すること。
- 図書館資料の利用に関すること。
- レファレンス・サービスに関すること。
- 文化事業の企画及び運営に関すること。
- その他図書館の奉仕に関すること。

Ⅱ 子ども教育

「子ども教育」の連携を推進

0歳から15歳までを、子どもたち一人ひとりに「生きる力」をはぐくむ連続した教育期間ととらえ、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校・家庭・地域が共に子どもたちの育ちを支える「子ども教育」の連携を推進しています。

1 全ての中学校区で小中一貫教育を実施します。

平成30年度に市内全ての中学校区で「幼保小中を一貫した草加の教育」を実施するため、各中学校区で「目指す子ども像」を定め、小中9年間を通じた教育課程を実施することで小中一貫教育を実施します。さらに、草加中学校区で幼保小中を一貫した教育を先行実施し、研究発表会を開催します。

また、「草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム」について、昨年度作成した7教科等に加え、本年度は、生活、図画工作、美術、家庭、技術・家庭、道徳、総合的な学習の時間、特別活動を作成し、配布します。

2 3つの子ども教育プログラムを実施しています。

(1) 目指す「草加っ子」(幼保小中教育指針)

0歳から15歳まで、「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる」草加っ子をはぐくむため、発達段階ごとに、「生活」「人とかかわり」「自ら学ぶ」の各領域について、「具体的な取組事項」を定めた教育の指針です。

このプログラムにより、園や学校という違いがあっても、子どもに関わる教職員が、中学卒業時の子どもの姿を共有しています。

(2) 幼保小接続期プログラム

幼稚園・保育園・認定こども園の「学び」のめばえとなる遊び(生活)を、小学校の各教科等の「学び」につなぐためのプログラムです。

(3) 小中連携プログラム

小中学校9年間を通じた教育を円滑につなぐため、基本的な生活習慣・学習習慣の定着や、学力の向上、問題行動の予防を目指すプログラムです。

3 日々の保育・教育を支援する3つの資料の活用を促進します。

(1) 乳幼児期 保育・教育課程(草加っ子 にこにこ わくわくプラン)

小学校入学までに身に付けたい力をはぐくむために、乳幼児期において「生活する力」「人とかかわる力」「自ら学ぶ力」について経験させたい内容や実践事例を、発達の時期ごとに示した、幼稚園教諭・保育士向けの指導資料です。

(2) 草加市幼保小中一貫教育カリキュラム

0歳から15歳までの15年間の見通しをもって、系統性のある学習指導を行うために、各教科等の「学び」のつながりを明らかにし、達成すべき目標やそのための指導のポイントをまとめた資料です。

(3) 小中学校 教育課程指導資料 (算数・数学)

児童生徒の学力や意欲を伸ばし、思考力の育成や知識・技能の定着を図るために、小中学校9年間を見通した算数・数学の指導を支援する、小中学校教員向けの指導資料です。

4 家庭教育への支援

小中学校入学前などの節目や各校のPTA活動などにおいて、保護者を対象にした「親の学習」講座を開催します。また、中学生向け「親の学習」講座のモデル実施を行います。さらに、乳幼児期・小学校入学準備期から児童期・思春期それぞれの時期をテーマにした子育て講演会の開催や、保護者向けの子育てリーフレットシリーズ（「笑顔で子育て」、「もうすぐ1年生」、「エンジョイ！中学校生活」、「家庭学習のすすめ」）の配布を行います。

入学準備金・奨学資金の貸付制度

高等学校等に入学を希望する方の保護者で入学準備金の調達が困難な方に対し、入学準備金を貸し付けることにより市民に等しく教育を受ける機会を与えるとともに、経済的な理由から修学が困難な方に対し、奨学資金を貸し付けることにより有能な人材の育成を図ります。

区 分		入学準備金貸付限度額	奨学資金貸付金額 (月額)
高等学 高等専 専修学 校 校 校	国立・公立	100,000円	10,000円
	私 立	300,000円	20,000円
短 期 大 学 大 学	国立・公立	200,000円	15,000円
	私 立	500,000円	30,000円

外国人学校児童生徒保護者補助金制度

外国人学校（学校教育法に定める義務教育相当年齢の児童生徒を教育する学校）に通学する児童生徒の保護者で、住民基本台帳に記載されている方を対象に、通学に要する経費の補助を実施しています。

対 象	補 助 金 額
学齢児童の保護者（1人につき）	30,000円以内
学齢生徒の保護者（1人につき）	50,000円以内

計画的な学校教育施設整備の推進

平成29年度は、トイレ環境の改善に向けて小学校9校9か所のトイレ改修工事を実施し、小学校9校9か所の実施設計も行います。また、防災機能強化に向けて、中学校11校の屋内運動場について非構造部材改修工事を実施し、小学校10校10か所の実施設計も行います。小中学校のその他必要な修繕及び工事も実施し、安全で快適な学習環境を維持します。

自 然 教 室

1 趣旨と目標

自然教室は、自然に恵まれた「奥日光自然の家」を利用して、児童生徒一人ひとりが自然の恵みや美しさなどに触れるとともに、人間的な触れ合いの中で、より良い人間関係を深めることにより、豊かな心を育成することを目標とした取組です。豊かな心の育成が大きな教育課題の一つになっている今、ますます自然教室での自然との触れ合いや仲間との交流活動などの学習が大切になっています。

平成26年度から、試行として草加市と姉妹都市である福島県大沼郡昭和村でも自然教室を実施しています。

2 実施計画の概要

○小学校5年生全児童、中学校2年生全生徒対象

【奥日光】

- ・小学校17校 各校3泊4日 7月21日(金)～8月11日(金)
8月17日(木)～8月26日(土)
- ・中学校11校 各校3泊4日 6月17日(土)～6月26日(月)
6月28日(水)～7月7日(金)
8月31日(木)～9月15日(金)

【昭和村】

- ・小学校4校 各校2泊3日 7月27日(木)～7月29日(土)
8月2日(水)～8月4日(金)
8月8日(火)～8月10日(木)
8月23日(水)～8月25日(金)

3 自然教室の経緯

○昭和60年 蓼科林間学校が廃止される。

○昭和61年 奥日光自然の家を日光中禅寺湖畔に開設する。

(4大学が利用していた施設を市が譲り受ける。)

奥日光自然の家において自然教室を実施する。

(小学校3泊4日、中学校4泊5日)

- 平成 7年 小学校・中学校とも3泊4日とする。
- 平成17年 草加市立小中学校自然教室20周年記念式典を行う。
- 平成26年 昭和村での2泊3日の自然教室を小学校2校で試行する。
- 平成27年 昭和村での2泊3日の自然教室を小学校3校で試行する。
- 平成28年 昭和村での2泊3日の自然教室を小学校3校で試行する。
草加市立小中学校自然教室30周年記念式典を行う。
- 平成29年 昭和村での2泊3日の自然教室を小学校4校で試行する。

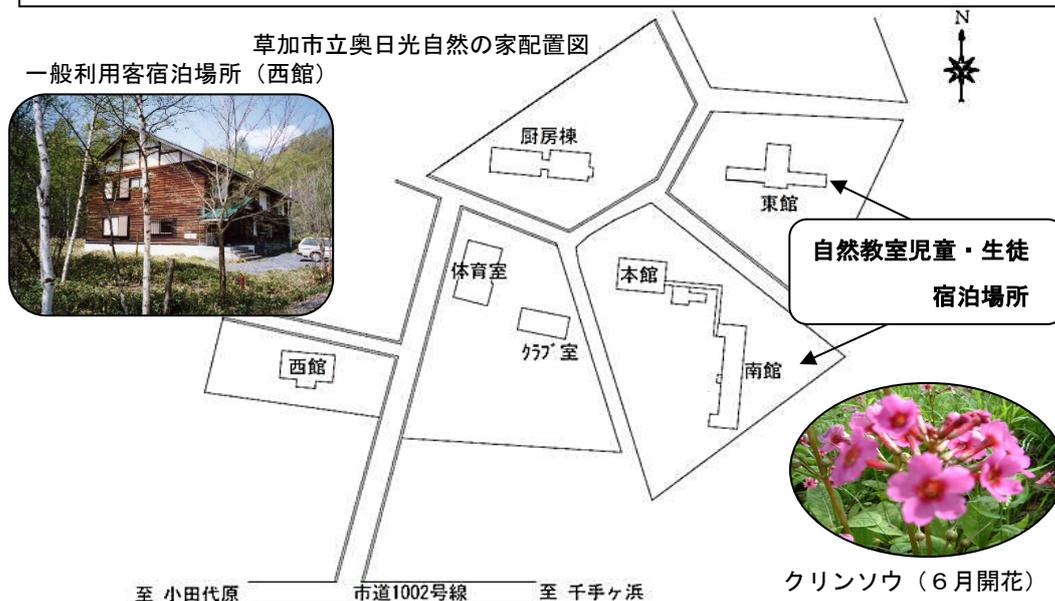
教育施設の紹介

○奥日光自然の家

中禅寺湖畔千手ヶ浜にほど近い国有林にある草加市立奥日光自然の家は、周辺に野鳥や鹿などの野生動物が生息する自然の宝庫です。この豊かな自然環境の中で、児童生徒の心身ともに調和のとれた健全な育成を図るとともに、市民の健康増進を目的として同施設は昭和61年に開設されました。

毎年、5月から11月初旬まで一般の方に施設を利用していただいております。また、6月から9月にかけて、市内の小学5年生・中学2年生を対象に、3泊4日で自然教室を開催しています。

- ・所在地：栃木県日光市中宮祠官有無番地
- ・施設概要：宿泊棟4棟(本館、南館、東館、西館)、厨房棟、体育室、クラブ室
西館 和室(定員4名)5部屋 洋室(定員6名)5部屋
- ・宿泊料金(市内料金)：大人1人1泊1,540円 4歳~中学生770円 ※食事料金別途



学 校 図 書 館 教 育

1 学校図書館の機能

学校図書館には、児童生徒が自ら学ぶ学習・情報センターとしての機能、豊かな感性や情操をはぐくむ読書センター機能が求められています。

- (1) 司書教諭を中心に、全教職員の共通理解に基づく協力体制を確立し、計画的な学校図書館の利用や読書活動の推進を図っています。また、公立図書館との連携も行っています。
- (2) 学習・情報センター及び読書センターとしての機能が発揮できるよう、図書や視聴覚資料等の整備・充実に努め、データベース化も行っています。
- (3) 市教育委員会では、学校司書を採用して、全小中学校に配置し、学校図書館教育への支援を行っています。

2 読書活動

読書は、児童生徒の人間形成に欠かせない活動であり、生涯にわたる自己啓発の基盤となるものです。また、小中学校では、学校図書館を活用して計画的な読書活動を推進し、発達段階に応じながら朝の一斉読書や読み聞かせ活動等により、児童生徒が読書に親しむ態度の育成を図っています。

ワーキンググループでの話し合いや読書アンケート調査の実施等、「子ども読書活動の推進に関する法律」に基づき「草加市子ども読書活動推進計画」策定の準備を進めています。

3 成果

取組により、学校図書館の蔵書貸出数が昨年度から13.9%増加し、小中学校合わせて年間23万819冊の貸出し数があり、読書活動の充実が図られています。

国 際 理 解 教 育

1 国際理解教育の目標

国際理解教育は、国際化の進展に対応し、国際社会の中で日本人としての自覚と、主体性をもって生きていくための資質や能力の基礎を培うことを目標に行っています。

本市では、外国語活動及び英語教育の充実に向け、国際交流員（CIR）1人を含む語学指導助手（ALT）20人を各学校に配置しています。英語教育や外国語活動、国際理解教育だけでなく、特別活動等でも児童生徒との交流活動を実施しています。

2 中学校における英語教育

英語の授業では、日本人英語教師とALTとのチームティーチング等をとおり、

生徒が英語を使ってコミュニケーション活動などを行い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養っています。

また、平成29年度より、英語検定試験推進事業を実施しています。中学校第3学年の全生徒が、英語検定試験を受検し、国の目標である中学校卒業時3級合格を目指します。3級受検料3,400円を上限に補助を行い、英語教育の推進に取り組んでいます。

3 小学校における外国語活動

小学校では、5・6年生で外国語活動が行われています。担任教師が中心となり、文部科学省作成の『Hi, friends!』等を活用し、ALTとのチームティーチングを行うなど、児童が外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことをとおして、国際理解を深めることができるよう、外国語活動を実施しています。また、草加市独自の副教材「英語カレンダー」を活用し、言語活動や文字指導に取り組むなど、積極的にコミュニケーションができる児童の育成に取り組んでいます。

4 その他の取組

日本語指導が必要な児童生徒の在籍校に国際理解教育補助員（8人）を配置し、該当児童生徒の実態に応じた日本語支援等を行っています。

5 成果

取組により、外国語をとおして外国の言語や文化を身近に感じ、興味・関心が高まっています。また、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育っています。

情 報 教 育

1 情報教育の目標

情報教育の目標は、児童生徒が情報を主体的に収集・選択・活用する情報活用能力及びICT機器等の情報手段を活用できる能力の育成を図ることです。

小中学校では、各教科や領域においてICTを積極的に活用し、学習活動における情報教育の充実を図ります。

2 主な取組

(1) ICT環境の整備

- ・全校の情報教室に2 in 1 コンピュータ（ノート・タブレット両用）各42台を整備
- ・全校に移動用2 in 1 コンピュータ（ノート・タブレット両用）、電子黒板等を整備
- ・全校の学校図書館にコンピュータ各2台を整備
- ・全校にインターネット高速通信回線接続
- ・小中学校県費負担教職員に教育用兼校務用コンピュータを整備

- ・小学校6校、中学校3校にタブレット型コンピュータ及び電子黒板を整備
(平成28年度から2年目の整備 計 小学校12校、中学校6校)
- (2) 情報教育研修会
情報教育に関する教員の資質向上のために、ICT機器活用研修会を実施します。
また、各学校では情報教育の推進教員による校内研修などに取り組みます。
- (3) 情報教育推進委員会
学校における情報教育の推進を図るため、ICT機器の活用の仕方、ICT機器を活用した学習活動の在り方の研究を行います。また、情報社会におけるモラルやマナーの育成に向けた取組を行います。
- (4) 授業でのICT活用
小中学校にデジタル教科書を整備し授業で活用しています。また、小学校12校、中学校6校に整備するタブレット型コンピュータ及び電子黒板を活用することにより、児童生徒に思考力、表現力を身に付けさせる授業を展開します。

3 成果

取組により、各校でのICTを活用した教育活動の充実が図られています。ICT機器等を整備し、授業でのICT活用を進めることで、児童生徒の学習意欲や情報活用能力の向上が図られています。

環 境 教 育

近年、社会環境の著しい変化とともに「環境教育」の重要性・実践性が強く求められています。

教育委員会では、平成4年度から学校教育の場において市廃棄物資源課と連携し、市内小中学校で給食の牛乳パックのリサイクルを開始しました。

平成16年度からは、市廃棄物資源課と連携して、市内の小中学校でアルミ缶の回収活動を開始し、学校教育への還元化を目指した取組を行っています。

また、各校では県の事業である「環境学習サポート制度」を利用して講師の派遣を依頼することで、環境教育の充実を図っています。

1 具体的な取組内容

- (1) 環境教育の全体計画と年間指導計画づくりの推進
- (2) 総合的な学習の時間等での積極的な取組
- (3) 学校ビオトープ維持管理等への支援
- (4) 牛乳パックやアルミ缶のリサイクルの取組
- (5) エコライフDAY（県）の積極的な参加
- (6) 小学校5年生・中学校2年生全員参加による自然教室をとおした環境教育の推進

2 今後の方向性

- (1) 「持続可能な循環型社会づくり」を目指して、市内の小中学校で環境教育の一層の推進を図っていきます。
- (2) 関係機関との連携を深め、地域ぐるみの活動として定着を図っていきます。

教職員の研究・研修

「生きる力」を身に付け、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる草加っ子（15歳の姿）の実現を目指し、「指導の基」や子ども教育プログラムが効果的に活用されるよう、各校の課題研究に対する支援や、教職員の資質向上・指導力向上に資する研修会を実施しています。

1 学校訪問

- (1) 要請訪問：学校や教職員によって運営される草加市教育研究会の要請に応じ、指導主事が各校を訪問し、指導助言を行っています。
- (2) 学校訪問：市教育委員会の計画に基づき、埼玉県教育局南部教育事務所等の協力を得て、毎年度1回市内小中学校全32校を訪問し、指導助言を行っています。

2 教職員研修

- (1) 県教育委員会主催：初任者研修、ステップ・アップ研修、5年経験者研修、10年経験者研修、20年経験者研修、特定研修、人権教育研修等を実施しています。
- (2) 市教育委員会主催：3年次教員研修、中堅教員研修、臨時的任用教員研修、各教科及び領域等の授業研究会や実技研修会、生徒指導、人権教育、教育相談、特別支援教育、情報教育等の研修会を実施しています。

3 草加市教育委員会研究委嘱校・委嘱団体

- (1) 草加っ子生き生きプラン「生きるカプラン」

【研究委嘱校 平成27～29年度】

高砂小学校 学力向上「算数科」

八幡小学校 学力向上「算数科」

新栄小学校 学力向上「算数科」

稲荷小学校 草加っ子の基礎・基本「国語科」

長栄小学校 学力向上「算数科」

- (2) 草加市子ども教育連携推進研究

【研究委嘱期間 平成28～31年度】

<研究団体（モデル校区）>

草加中学校区（草加小学校・西町小学校・草加中学校）

- 川柳中学校区 (八幡小学校・青柳小学校・川柳中学校)
- 新田中学校区 (新田小学校・長栄小学校・新田中学校)
- <研究協力団体(実践校区)>
- 栄中学校区 (栄小学校・松原小学校・栄中学校)
- 谷塚中学校区 (谷塚小学校・氷川小学校・谷塚中学校)
- 新栄中学校区 (新栄小学校・清門小学校・新栄中学校)
- 瀬崎中学校区 (高砂小学校・瀬崎小学校・瀬崎中学校)
- 花栗中学校区 (花栗南小学校・小山小学校・花栗中学校)
- 両新田中学校区 (新里小学校・両新田小学校・両新田中学校)
- 青柳中学校区 (川柳小学校・八幡北小学校・青柳中学校)
- 松江中学校区 (稲荷小学校・松江中学校)

4 成果

取組により、児童生徒の学習意欲の向上、教職員の研修の充実が図られています。

生 徒 指 導

1 目標

生徒指導は、学校の教育目標を達成するための重要な機能の一つであり、一人ひとりの児童生徒が学校生活に生きがいを感じ、規律正しく、豊かで充実した生活を送ることができるように指導、支援するものです。こうした目標に向けて、いじめ・不登校の問題の解消を始め、学校支援の充実をとおして、心豊かな児童生徒の育成に努めています。

2 主な取組

目標を達成するために、次の取組をとおし各小中学校での生徒指導を支援しています。

- (1) 様々な学校の問題に対して直接的に支援できる体制として、平成25年度から「草加市立小中学校問題解決支援チーム (TEAM 3S)」が発足しました。
- (2) 指導課に生徒指導担当指導員、学級支援員を配置し、各小中学校への派遣をとおして、教員が子どもと関わる時間を確保し、一人ひとりの子どもが落ち着いて学習に取り組むことができるよう、学校支援体制の充実に努めています。
- (3) 豊かな人間性の育成を目指して、道徳教育の充実を図るため、埼玉県道徳教育教材資料集「彩の国の道徳」の活用や道徳の時間などの工夫・改善について、学校訪問での指導助言や研修会を実施しています。また、豊かな体験活動として、自然教室や中学生が地域の事業所等で社会体験をする中学校社会体験事業及び読書活動などを行っています。
- (4) 「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」に基づいて、造血幹細

胞の適切な提供の推進を教育的観点からとらえ、「いのちの絆をつなぐ教育」として学校教育の中で推進していくことを目的に、豊かな心推進事業を平成27年度から行っています。

小学校では、5年生で「造血幹細胞移植」に係る授業を実施し、中学校では、2年生を対象に「造血幹細胞移植」に係る講演会・授業を実施します。

- (5) 「いのちの教育ランドデザイン」を作成し、「いのちの大切さ」を実感することができる学習をとおして、子どもが自他のいのちはかけがえのないこと、生を受けたことへの感謝、生きることの尊さを理解する「いのちの大切さ」を実感させる教育を推進します。
- (6) 指導課に設置してあるフリーダイヤル等による電話相談、教育支援室における来室相談を行っています。
- (7) 草加市小中高合同生徒指導委員会において、小学校、中学校、高等学校、児童相談所等との相互の連携協力関係を充実させるために、事例研修会や講演会を実施しています。
- (8) 学校警察連絡協議会において草加警察署及び小中学校、高等学校との連携を図っています。
- (9) 学校・家庭・地域がいじめに対しての関心を高め、防止していこうとする態度や意識をもつことを目的に、平成25年度より市内全小中学校の児童生徒、教職員、保護者、PTA役員等を対象とした「いじめ撲滅サミット」を開催しています。
- (10) 平成26年3月に「草加市におけるいじめの防止等のための基本的な方針」を策定するとともに、各校で「学校いじめ防止基本方針」を定めました。また、同年6月、「草加市いじめ問題対策連絡協議会等条例」を策定しました。

教 育 相 談

1 教育支援室

草加市教育支援室は、昭和46年の設置後、平成13年2月に場所の移転及び組織の改編を行い、内容、施設ともに充実を図り、平成19年4月より、学校への支援を積極的に行うという視点から、教育相談室から教育支援室へと名称を変更しました。専門的な立場から幼児、児童、生徒、保護者や学校に対して支援・相談に応じ、一人ひとりの子どもより望ましい成長と自己実現への支援を行っています。

2 教育相談等の内容と対応する職員等

(1) 内容

- ①一般教育相談 ②巡回教育相談 ③学級支援 ④学校適応指導教室「ふれあい教室」の開設 ⑤就学相談 ⑥ことばの相談 ⑦学校教育相談活動への支援 ⑧各種研修会の実施 ⑨障害児就学支援委員会、調査専門員の活動 ⑩特別支援学級設置校及び通

級指導教室開設校への支援 ⑪「教育支援室リーフレット」「就学支援の手引」等の発行

(2) 職員等

①室長 ②指導主事等 5 人 ③学校支援指導員 3 人 ④特別支援教育指導員 1 人
 ⑤「ふれあい教室」指導員 2 人 ⑥臨床心理士・臨床心理専門員 4 人 ⑦特別支援相談員 2 人 ⑧巡回相談員 3 人 ⑨ことばの相談指導員 1 人 ⑩通級指導教室指導員 3 人
 ⑪通級指導教室相談員 1 人 ⑫スクールカウンセラー 8 人 ⑬スクールソーシャルワーカー 3 人（県費 2、市費 1） ⑭草加市さわやか相談員 1 1 人 ⑮特別支援教育支援員 3 0 人 ⑯特別支援教室児童担当指導員 1 人

3 教育支援室対応状況の概要

(1) 年度別相談項目と相談者実人数及び延べ人数 (単位：人)

	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
ことばの相談	72	341	78	388	44	286	54	285	39	280
知的発達相談	147	664	224	553	191	484	180	432	109	391
情緒障がい	227	1,643	393	1,279	322	1,206	374	1,228	194	926
集団不適応	87	336	162	252	66	128	93	141	156	286
いじめ相談	53	383	24	53	16	20	14	29	13	30
性格行動	14	98	8	56	4	12	17	23	6	9
あそび・非行	129	646	13	51	6	23	21	33	4	12
しつけ	6	81	10	47	4	11	5	9	4	6
就学・進路	16	21	8	12	11	30	21	41	5	9
生活行動	78	379	52	157	46	118	29	71	34	76
学習面	60	873	439	876	317	653	310	483	152	556
不登校	466	3,490	623	2,163	443	1,859	516	2,160	449	2,241
就学相談	272	832	291	1,039	243	839	256	739	375	754
その他	705	2,459	1,162	2,648	1,128	2,009	1,102	1,559	731	1,405
合計	2,332	12,246	3,487	9,574	2,841	7,678	2,992	7,233	2,271	6,981

(2) ふれあい教室利用者実人数及び延べ人数 (単位：人)

平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
27	922	25	1,305	15	1,114	23	1,350	25	1,254

4 成果

市内小中学校及び保護者等と連携を図りながら、様々な相談・支援を行うことで、一人ひとりの児童生徒の課題の解決が促進されています。中でも、巡回相談を始めとする学校訪問等が充実したことで、児童生徒、保護者の相談のみならず、学校や教職員への支援も推進されました。また、中学校に設置されているさわやか相談室の機能が、市教委との連携の中で一層充実し、市立小中学校におけるいじめ・不登校等の解決に成果を上げています。

さらに、学校適応指導教室「ふれあい教室」に通級していた児童生徒が、教育支援室と保護者、学校、関係機関との連携により、学校の「さわやか相談室」等を活用できるようになったり、教室に入ることができるようになりました。

特 別 支 援 教 育

1 特別支援教育の目標

特別支援教育は、障がいのある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けて、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その可能性や能力を最大限に高め、生活や学習上の課題を改善・克服するために適切な教育的支援を行うことを目標にしています。

通常の学級に在籍する、発達障害を含め教育上特別な支援が必要と思われる児童生徒や、障がいのある児童生徒への支援を進めるために、各小中学校に校内委員会を設置し、特別支援教育コーディネーターを校務分掌に位置付ける等、校内の特別支援教育体制の充実を図っています。

2 草加市の特別支援学級

草加市には、特別支援学級を設置している小学校が全21校に37学級、中学校が全11校に21学級あります。知的障害特別支援学級、自閉症・情緒障害特別支援学級が設置され、児童生徒一人ひとりの障がいの状態、発達段階、特性に応じた教育を行っています。

【平成29年度特別支援学級設置状況】

平成29年5月1日現在

学校名	児童数	学級数	学校名	児童数	学級数	学校名	生徒数	学級数
草加小	9	2	新栄小	4	1	草加中	15	3
高砂小	10	2	清門小	10	2	栄中	6	2
新田小	15	2	稻荷小	5	1	谷塚中	9	2
谷塚小	7	2	氷川小	5	1	川柳中	9	2
栄小	14	2	八幡北小	7	1	新栄中	7	2
川柳小	7	2	長栄小	3	1	瀬崎中	5	2
瀬崎小	5	2	青柳小	8	2	花栗中	5	2
西町小	9	2	小山小	4	1	両新田中	6	2
新里小	9	2	両新田小	13	2	新田中	3	1
花栗南小	8	2	松原小	8	2	青柳中	2	1
八幡小	14	3	合計 32校58学級 249人			松江中	8	2

3 草加市の通級指導教室

通常学級に在籍していることば・聞こえに課題のある児童のための通級指導教室は、小学校3校に4教室設置されています。また、情緒等に課題がある児童生徒のための通級指導教室も小学校3校に5教室、中学校1校に1教室設置されています。

それぞれの教室では、児童生徒の言語面や情緒面の課題改善のための教育を推進しています。

【平成29年度通級指導教室設置状況】

平成29年5月1日現在

学校名	児童数	教室数	学校名	児童数	教室数	学校名	児童数	教室数
栄小 (発達・情緒)	17	2	氷川小 (発達・情緒)	12	2	八幡小 (発達・情緒)	13	1
松原小 (難聴・言語)	15	2	氷川小 (難聴・言語)	12	1	八幡北小 (難聴・言語)	17	1
栄中 (発達・情緒)	11	1				合計 6校10教室87人		

4 草加市の就学に係る教育的支援

草加市では次の事業をとおして、関係機関と連携を図り、就学に必要な情報を的確に保護者に提供しながら、保護者が適切な判断をしていけるよう支援しています。

- ・特別支援教育指導員や臨床心理士による計画的な学校訪問を実施することを始めとして、より児童生徒、保護者及び学校のニーズにあった専門的な支援を推進しています。
- ・各学校における就学相談委員会などでの相談を始め、早期からの多角的な相談をもとに、就学に係る教育的支援を推進しています。

- ・就学に係る教育的支援を行うために、専門機関の方々、専門医、臨床心理士、特別支援教育に携わる教職員で組織する草加市障害児就学支援委員会を設置しています。
- ・草加市特別支援教育巡回支援員を置き、就学に係る教育的支援が必要と判断された児童生徒の在籍する学校及び小中学校長から要請のあった学校を、保護者の意向を踏まえ巡回し、対象児童生徒の実態把握並びに指導内容及び方法に関する助言を行っています。
- ・通級指導教室に言語聴覚士及び臨床心理士を指導員として派遣し、担当教員への研修体制を整えています。

5 成果

- (1) 就学予定児や児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、適切な教育的支援が図られています。
- (2) 知的障害特別支援学級については、草加中学校・青柳中学校の各1学級を減じ、自閉症・情緒障害特別支援学級については、青柳中学校に1学級新設し、市内の特別支援学級は、小学校に37学級、中学校に21学級を設置し、合計249人の児童生徒が在籍しています。また、通級指導教室については、難聴・言語障害3校4教室、発達障害・情緒障害4校6教室を設置し、合計87人の児童生徒が在籍しています。これらの学級・教室の設置により地域で指導ができる体制づくりを目指すとともに、一人ひとりの障がいの状態や教育的ニーズに一層応じられるようになっていきます。
- (3) 特別支援学級等に30人の特別支援教育支援員を配置し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応えるための教育活動への支援を図っています。
- (4) 就学に係る教育的支援に関する関係組織や諸機関との連携により、幼児期からの早期就学相談・就学に係る教育的支援を推進しています。
- (5) 市教育支援室巡回相談員による市内小中学校への巡回相談を行い、障がいがあると思われる児童生徒の理解や支援・指導方法についての助言に努めています。
- (6) 通級指導教室に指導員を派遣し担当教員の資質の向上を図ることにより、児童の課題の克服や改善に向けた支援に努めています。
- (7) 市内在住の県立特別支援学校の児童生徒が市内小中学校において、「支援籍学習」に取り組み、インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進に努めています。
- (8) 特別支援教育指導員を配置し、特別支援学級への巡回支援を行い、担当教員の指導力の向上と特別支援教育の充実に努めています。
- (9) 特別支援教育担当教員育成研修会を行い、特別支援教育に携わる人材の発掘及び育成を図っています。
- (10) 平成29年度より、特別支援教室児童担当指導員を1人配置し、通級学級に在籍し不適応を起こしている、または起こす可能性のある児童に対して、特別支援学級の弾力的運用等、個別の指導・支援を行ったり、個別の教育支援計画作成に対する助言を行ったりしています。

学 校 給 食

本市の学校給食は、草加小学校において昭和23年に週3回のミルク給食から開始されました。なお、完全給食は、小学校では昭和41年から、中学校では昭和45年から実施され、長栄小学校及び新田中学校が併設校として一つの調理場である他は、各校単独調理場方式（自校方式）で実施されています。

単独調理場の特長をいかして、学校行事や児童生徒の嗜好等を考慮したきめ細やかな献立により、心のこもった給食づくりを実施し、児童生徒の健やかな心と体の育成を目指しています。

なお、平成18年度から中学校の学校給食調理業務を、段階的に民間の専門会社に委託する方式を導入し、平成20年度から民間委託方式が新田中学校を除く全中学校で導入されましたが、これまでと変わらない、手づくりのおいしい給食を提供しています。

【平成29年度学校給食費】

区 分	月 額	年 額	年間給食回数	一食当たり
小学校	4,300円	47,300円	189回	250円
中学校	5,100円	56,100円	189回	296円

1 学校給食の目標

(1) 給食は「心の教育」

学校給食は、望ましい食習慣の形成、望ましい人間関係の育成をねらいとして、特別活動の中の学級活動に位置付けられ実施されています。本市においては、異学年と一緒に食べるたて割り給食、誕生会の会食給食、ランチルームでの給食や屋外での給食、卒業バイキング給食や複式献立によるセレクト給食、学校行事に合わせた献立等多様な給食を盛り込んでいます。

さらに、本市のシンボルである草加松原の絵柄を用いた食器を使用し、児童生徒のふるさと意識を醸成しています。また、各校に設置された調理場で働く調理士との交流を通じ、感謝の心を育て、仲間で協力し合って食器を運び、配膳すること等で、望ましい人間関係の形成を図っています。

(2) 計画的な栄養指導と献立の多様化

現代の児童生徒の食生活の実態は、飽食の時代といわれる中であって、必ずしも良好とはいえません。カルシウムの摂取が不足がちになる一方で、動物性たんぱく質や動物性脂肪の摂取が過多になる傾向が見られるため、栄養素や食材に偏りのない正しい食生活が重要です。

そこで、本市の学校給食では、次の点に留意し、実施しています。

- ・不足しがちなカルシウム・鉄・ビタミン類の摂取に心掛ける。
- ・緑黄色野菜・大豆製品・海藻類・種実類・芋類の摂取に心掛ける。
- ・旬のものを取り入れ、季節感のある献立とする。
- ・不必要な食品添加物などが使用されていると思われる食品は使用しない。

以上のことや「学校給食摂取基準」「標準食品構成表」に基づき、肉類・油脂が過剰にならないよう配慮し、魚を多く取り入れ、不足しがちな食品の摂取に留意し、おいしく、栄養のバランスのとれた献立内容とするための工夫改善をしています。

また、成長期にある児童生徒が自らの健康の維持増進を図るために必要な条件を認識させ、判断できる能力を養うため、給食指導計画と栄養指導資料を作成しています。

さらに、栄養面の知識を身に付けさせるとともに、心と体の健全な発達を指向する態度の育成をめざしています。

(3) 衛生管理の徹底

学校給食による食中毒・感染症の発生等の事故を未然に防止するために、施設・設備の点検、食材の検収、調理器具の点検整備を十分に行い、提供食の保存・検査も行っています。また、学校給食に携わる者の衛生については、細菌検査による健康管理や衛生知識を高めるための研修会等を実施し、管理の徹底を図っています。

(4) 食材の安全と安心

学校給食において、食の安全と安心は欠かせません。安全な産地の食材を使用するとともに、使用食材の放射性物質検査を行い、食材の安全性を確認し、学校給食の安全と安心の確保に努めています。

2 強化磁器食器の導入

本市では、平成3年4月から小学校全学年に、平成4年2月から中学校全学年に本市のシンボルである草加松原の絵柄の強化磁器食器を導入しました。温もりのある材質の食器を使うことで、給食時間の楽しい雰囲気づくりや食事マナーの指導に役立てているほか、物を大切に扱う心の育成に努めています。

3 地場産食材の使用・郷土食等の導入

市内で生産された枝豆、小松菜、くわいなどの野菜を中心に、採れたての地場産食材を積極的に使用する取組や、献立に各地の郷土料理や特産品を取り入れた「ふるさと給食」、ユネスコ無形文化遺産に登録された和食を見直す「一汁二菜の日」など、生活と食との結び付きに着目した取組を行っています。

特に地場産食材については、生産者との交流を通じて食材の生育の過程を学び、身近に存在する食品への関心を高める工夫をしています。

学 校 保 健

社会環境、生活習慣の変化による生活習慣病の増加やアレルギー疾患への対応、薬物乱用の防止など早急に取り組まなければならない問題が山積し、児童生徒の心身の健康の保持増進を図るために必要な知識と態度の習得を目的とする健康教育がますます重要になってきています。

「自分の健康は自分でつくる」という健康意識の浸透や疾病そのものを予防する「一次予防」への取組など、自己管理教育の推進や児童生徒の立場に立った心身の問題解決への支援がますます必要とされてきており、これからも学校、家庭及び地域の三者が一体となった連携が重要です。

人生の基礎となる学校生活が、児童生徒にとって健康で活力に満ちたものになるよう、健康教育及び安全管理の充実を図ります。

1 学校保健・安全の充実

- (1) 就学時健康診断を始めとし、児童生徒及び教職員の様々な検診を実施し、事前・事後指導を通じて健康管理の推進と学校保健の充実を図ります。
- (2) 小学校4年生を対象に、日々の生活習慣が深く関わる小児生活習慣病予防健診を平成4年から実施し、年少のうちから自分の健康は自分でつくるという自己健康管理の視点で充実を図ります。
- (3) 小学校1・4年生及び中学校1年生を対象に心臓検診を実施し、平成20年度からは、地域の中核病院である草加市立病院で心臓精密診療（精密検査）を実施しています。
- (4) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師等の医療関係者や関係機関との連携を強化し、児童生徒のアレルギー疾患において、「学校生活管理指導表」を活用し、これまで以上に適切な管理を図るほか、熱中症対策、むし歯や歯周病の予防、インフルエンザや麻しん等の感染症予防対策を一層推進し、健康管理及び学校環境衛生の充実に努めます。
- (5) 登下校を含め、児童生徒の行動実態に応じた安全対策や指導を行い、学校管理下で発生する事故の防止に努めます。
- (6) 全小中学校にAED（自動体外式除細動器）を配備し、「いざ」というとき、いつでも・どこでも・だれでもAEDを使用できるよう、消防本部と連携し、救命講習会を実施しています。

2 保健室備品の整備充実

身長計、体重計、マットレス及びベッドなどの保健室備品の整備充実を図ります。

3 草加市学校保健会

学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長、保健主事、養護教諭、学校栄養士及びPTA関係者で構成されている草加市学校保健会の活動（理事会、講演会及び会報の発行など）をとおして、健康教育及び安全教育の計画的な実施と指導の充実を図ります。

市立小学校の紹介

(児童数・学級数は、平成29年5月1日現在)

学校紹介の内容

- <教育目標>
- <研究主題>
- <重点教科等>
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
- (2) 取組内容
- (3) 成果

など

草加小学校

創立年月日 明治5年5月15日
学級数 24学級 校長 中村 俊臣
児童数 716人 教頭 岩淵 健志



- <教育目標>
考える子 思いやりのある子 たくましい子
- <研究主題>
「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる」草加っ子の育成
～自己肯定感を育む草加の教育～
- <重点教科等>
学力向上「国語・算数」
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
『あかるいあいさつ あたたかい心』
- (2) 取組内容
 - ①生きる力の育成
 - ・日々の授業の充実を図る研修への取組
 - ・草加っ子の基礎・基本への取組
 - ・「あいさつは一生の宝物」を合言葉としたあいさつ運動
 - ・幼稚園・保育園・小学校・中学校を一貫した草加の教育の研究団体としての取組
 - ②地域と共に歩む学校
 - ・家庭・学校・地域が一体となった教育の推進
 - ・「おはなしの森」地域の人材による読み聞かせ
 - ・平成塾との交流（「絵はがきづくり」「昔あそび」等）
 - ③潤いのある学校づくり
 - ・「ふるさとの森」「じゃぶじゃぶ池」の整備と教材活用
 - ・「草小みどりの日」「草小もみじの日」の活動
- (3) 成果
145周年目の伝統校として、家庭・学校・地域が一体となり、児童の生きる力の育成が着実に図られている。
また、地域の行事へ参加することで、地域に根ざした「ふるさと草加」を愛する児童が育っている。

高砂小学校

創立年月日 昭和29年4月1日
学級数 30学級 校長 三浦 伸治
児童数 931人 教頭 山村 一晃



- <教育目標>
○あかるく ○かしこく ○たくましく
- <研究主題>
確かな学力の向上を目指した指導法の研究
- <重点教科等>
学力向上（算数科を中心に）
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
「世界が舞台だ！生きる力を育む高砂の子」
- (2) 取組内容
 - ①学力向上
 - ・市教育委員会「学力向上」研究委嘱校としての研究の推進
 - ・「草加っ子の学びを支える授業の5ヶ条」の徹底
 - ・サタデースクールの工夫
 - ②積極的な生徒指導の徹底（凡事徹底）
 - ・気持ちの良いあいさつ、きれいな学校、整った学校
 - ③学級経営を基盤に学年で取り組む教育指導
 - ・組織で共通理解をもって取り組む指導の充実
 - ④健康・体力の維持・増進
 - ・すくすく委員会実施
 - ・さわやかタイム等体育的諸活動の充実
 - ⑤国際理解教育の推進
 - ・外国語活動の充実 ・異文化理解の推進
 - ⑥幼保小中連携の充実
 - ・瀬崎中学区での連携 ・幼保との取組促進
- (3) 成果
 - ・研究委嘱3年目となり、研修で深めた高砂スタイルの授業実践により、算数の授業に意欲的に取り組む児童が増えた。
 - ・幼保小の連携事業が充実し、新1年生が学校生活に早く慣れることができた。また、異年齢の子に接する気持ちが育った。

新田小学校

創立年月日 明治6年4月26日
学級数 16学級 校長 森田 恵子
児童数 447人 教頭 土屋 貴一



- <教育目標>
○よく学ぶ子 ○思いやりのある子 ○たくましい子
- <研究主題>
主体的・対話的な学びをとおして、生き生き元気に学ぶ児童の育成 - めざす児童像 -
・主体的に学ぶ児童 ・対話的に学ぶ児童
- <重点教科等>
学力向上「算数科を中心に」
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
「生き生き元気、伸び育つ新田っ子」
- (2) 取組内容
 - ①幼保小中の一貫した教育の推進
 - ・幼保連携給食の実施
 - ・幼保小中合同研修会、幼保小中が互いに見合う授業をとおして指導方法の工夫を図る
 - ・中学生参加による計算力アップセミナー、陸上教室
 - ②基礎学力の向上
 - ・学習規律の統一（話の聞き方、発表の仕方、授業での挨拶等）
 - ・高学年で一部教科担任制の実施
 - ・家庭学習強化週間の実施
 - ③元気なあいさつのあふれる学校
 - ・年間を通した、あいさつ運動の推進
 - ・「元気なあいさつ、大きな声で返事」の合言葉
- (3) 成果
 - 学力向上（算数科）の委嘱研究の成果により、自分の考えを発表したり、書いたりする表現力の向上が見られた。
 - 幼保小中の連携が進み、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子どもを育てていく体制ができてきた。
 - 元気なあいさつが学校中で交わされるようになった。

谷塚小学校

創立年月日 明治6年1月25日
 学級数 27学級 校長 小櫃 真人
 児童数 805人 教頭 早津 次仁



- <教育目標> やさしく つよく かしこく
 <研究主題> 児童の運動意欲・技能向上をめざした体育科授業の充実
 <重点教科等> 体力向上（体育）
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 「ふるさと ふれあい 谷塚小学校」
 (2) 取組内容
 ○全職員の「熱意・誠意・創意」を結集させ、信頼される学校づくりを推進する。
 ①基礎・基本の定着
 ・学習規律の徹底 ・「谷塚小スタンダード」の継承
 ・朝自習（月：算数タイム 金：国語タイム）の工夫
 ・「家庭学習のすすめ」を踏まえた家庭学習の充実
 ・「草加サタデースクール」の効果的な運用
 ②体力向上の取組
 ・体育授業の充実 ・体育的活動、体育的行事の充実
 ・体力向上を目指した環境整備
 ③学習意欲を高める教育環境の構築
 ・ICTの積極的な活用（大型モニター・電子黒板等）
 ④生徒指導・いじめの根絶
 ・基本的生活習慣の確立（あいさつ・返事・廊下歩行）
 ⑤家庭・地域との連携《絆を深める教育活動》
 ・「8が付く日は谷塚の日」の取組
 ⑥幼小中連携教育を踏まえた取組・活動の充実
 ⑦複合施設としての利点をいかした教育活動の工夫
 (3) 成果
 ・明るく元気なあいさつ・返事ができる児童が増えた。
 ・家庭・地域の支援を受け、教育活動の充実を図ることができた。

栄小学校

創立年月日 昭和38年4月1日
 学級数 21学級 校長 今泉 正之
 児童数 671人 教頭 長野 典子



- <教育目標> ・よく考える子 ・思いやりのある子
 ・ねばり強い子 ・体をきたえる子
 <研究主題> 児童が生き生きと活動する授業づくり
 <重点教科等> 「栄小スタンダード」（国語科・3年目）
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 「さわやか かっさ えがお の さかえ」
 ー潤いと活力ある学校を目指してー
 (2) 取組内容
 ○魅力ある学級づくり
 =児童が存在感を見出せる学級づくり
 ○メリハリのある教育
 =「当たり前」の事を「当たり前」にできる（凡事徹底）
 ○研修体制の充実
 =国語科「栄小スタンダード」の検証
 ○授業力の向上
 =ユニバーサルデザイン、アクティブラーニングの視点による授業づくり
 ○家庭学習の充実
 =「家庭学習の手引き」の活用と自主学習の充実
 ○人権教育の推進
 =「ハートの日」の活用
 ○積極的な生徒指導
 =「栄っ子の自慢」づくりの推進
 ・明るいあいさつ ・きれいな学校
 ○開かれた学校づくり
 =地域の教育力を積極的に活用
 (3) 成果
 ・地域との連携が継続的に実施できている。
 ・「家庭学習の手引き」を活用した家庭学習の習慣化が身に付いてきている。

川柳小学校

創立年月日 明治6年1月15日
 学級数 22学級 校長 菅野 光三
 児童数 675人 教頭 赤坂 佳美



- <教育目標> かしこく なかよく たくましく
 <研究主題> 小中一貫に向けた小学校教師としての専門性の構築
 <重点教科等> 全教科
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 子どもたち一人ひとりを大切に、笑顔と活気あふれる川柳小
 (2) 取組内容
 ①家庭地域の取組
 ・ノーテレビ・ノーゲームデーの推進（毎月21日）
 ・ライズEライブラリ活用の推進
 ②教育課程の取組
 ・読書の充実（朝読書の活用、図書館貸出目標17000冊）
 ・日課表の改善（児童の活動時間及び教材研究時間の確保）
 ・木曜日ロング昼休みの実施（外遊び励行、担任とのふれあい）
 ③各教科・領域の取組
 ・高学年教科担任制の実施
 （理科、社会、図工、外国語、家庭科、音楽、算数（少人数））
 ・キャリア教育の推進（大相撲呼び出し、会社経営者、住職等）
 ・5年昭和村自然教室、6年会津修学旅行（復興支援）
 ④校内研修の取組
 ・小中一貫を見通して、1教科を選び専門性を高める。
 →教えるプロとしての矜持を持つ
 ⑤その他の取組
 ・学校ファーム整備（校地の有効活用、食育の推進）
 ・ICT機器の積極的な活用（授業の充実、教員の負担軽減）
 (3) 成果
 ①教育課程の改善及び校内研修の充実による学力・体力の向上
 ②体験活動の推進による自己肯定感の増加

瀬崎小学校

創立年月日 昭和42年4月1日
 学級数 21学級 校長 浅賀 利一
 児童数 621人 教頭 田代 義明



- <教育目標> 心豊かで たくましい子
 <研究主題> 主体的に問題解決に取り組み、お互いの考えを共有し、生き生きと算数を学ぶ子の育成
 ～主体的、対話的な深い学びを通して～
 <重点教科等> 算数科
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 「一人一人を大切に、笑顔と活気あふれる瀬崎小」
 (2) 取組内容
 ①まなびいっぱい
 ・学力の向上
 （基礎基本、活用力の育成 読書の奨励 体験活動の充実 ユニバーサルデザインを意識した授業）
 ・学習規律の徹底
 ・規則正しい生活習慣やきまり、約束を守る
 ②たくましさいっぱい
 ・体力の向上（体育授業の充実 運動遊びの生活化）
 ・保健教育（養護教諭の授業参加 健康な体づくり 早寝・早起き・朝ごはん）
 ・食育教育（栽培活動の推進 栄養教諭の授業参加）
 ③やさしさいっぱい
 ・思いやりの心を育てる
 （道徳授業の推進 あいさつの推進 いじめを許さない学級・学校づくり）
 ・学習環境の整備
 （清掃活動の徹底 掲示の工夫 学級園の活用と管理）
 (3) 成果
 ①落ち着いて学習に取り組むことにより学力の向上が見られた。
 ②校内でのあいさつ運動の取り組みにより、児童のあいさつが地域へ広がり始めた。

西町小学校

創立年月日 昭和42年4月1日
学級数 23学級 校長 森田 郷子
児童数 677人 教頭 坂本 拓也



<p><教育目標> よく考え 工夫する子 心豊かで 思いやりのある子 たくましく ねばり強い子</p> <p><研究主題> 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる 草加っ子の育成 ～自己肯定感を育む草加の教育～</p> <p><重点教科等> 幼保小中を一貫した教育 <特色ある学校づくりへの取組></p> <p>(1) キャッチフレーズ 感動いっぱい 夢いっぱい みんな生き生き 輝け西町</p> <p>(2) 取組内容 ①ICTやUD、AL等の学習活動や「パワーアップタイム」の実践による基礎学力の向上 ②「朝マラソン」「青空タイム」「西町小体操」等を通しての健康・体力の向上 ③あいさつの励行、もくもく清掃の徹底等、積極的な生徒指導の推進 ④幼稚園・保育園・中学校との円滑な接続と標準カリキュラムを活用した教育の推進 ⑤朝読書や読み聞かせの実践及び、中央図書館との連携等の充実による読書力の向上 ⑥縦わり活動等、体験活動の充実による豊かな心の育成</p> <p>(3) 成果 ①ICTやUD、AL等の学習活動の実践により、学力向上が図られた。 ②朝マラソンの取組や全校で統一した体育授業の充実、西町小体操の定着等により児童の体力が高まった。 ③幼・保・中との連携及びスムーズな接続が進んだ。</p>
--

新里小学校

創立年月日 昭和45年4月1日
学級数 23学級 校長 河野 健
児童数 713人 教頭 菊地 直樹



<p><教育目標> かしこく なかよく たくましく</p> <p><研究主題> 「自分の思いや考えを持ち、言語で表現できる児童の育成」 ～書く活動・読む活動をとおして～</p> <p><重点教科等> 国語科 <特色ある学校づくりへの取組></p> <p>(1) キャッチフレーズ 誇りの持てる学校 新里小 にっこにこで さわやかあいさつ ともだちいっぱいの学校</p> <p>(2) 取組内容 ①わかるー新里っ子の基礎・基本、漢字・計算の定着、本とのふれあい・読み聞かせ、少人数指導 ②助け合うー兄弟学級交流活動、児童会活動(募金活動・リサイクル活動・子どもまつり)、自然教室 ③鍛えるーマラソン・なわとび・相撲教室、各種大会の参加、水泳教室、プロサッカーチームの派遣授業 ④ふれあうー学校応援団、ロング昼休み、平成塾、地域学習(皮革・せんべい焼き体験)の充実 ⑤つながるー近隣の幼稚園・保育園・中学校・高等学校との連携交流授業、あいさつ運動、地域とのふれあい</p> <p>(3) 成果 ①元気でさわやかなあいさつや返事ができる。 ②子ども達を大切にできる地域で素直な子が育っている。 ③陸上競技・なわとび・相撲等、各種大会の優勝・入賞者が増加した。</p>
--

花栗南小学校

創立年月日 昭和47年4月1日
学級数 15学級 校長 佐々木 毅
児童数 428人 教頭 磯川 剛



<p><教育目標> 考える子・思いやりのある子・体をきたえる子</p> <p><研究主題> 「自ら進んで考え、解決しようとする児童の育成」</p> <p><重点教科等> 算数 <特色ある学校づくりへの取組></p> <p>(1) キャッチフレーズ 「潤いと活力のある花栗南小の教育」</p> <p>(2) 取組内容 ①個に応じた教育を推進し、児童に生きる力を育成する ○授業の充実による確かな学力と生きる力の育成 ○少人数指導等の充実・家庭学習の習慣化の推進 ②心潤う生徒指導による豊かな心の育成 ○基本的生活習慣の定着「礼を正し、場を清め、時を守る」 ○返事・あいさつの励行「あいさつじまん 南っ子」 ○心の教育の充実 ・道徳教育の充実・読書体験と読み聞かせ・人権教育の充実 ○いじめ・不登校0を推進 いじめ防止対策基本方針 ・定期的な調査チーム体制での対応・早期発見、早期対応 ③個に応じた体力づくり ・自己目標の設定・基礎体力の向上・元気まんてんカード ・朝の運動の充実・各種体育的行事への積極的参加、啓発</p> <p>(3) 成果 ①学校図書館の年間貸出冊数 17,000冊 ②あいさつ宣言をした児童 100% ③体力テスト総合評価 A+B+C 91.9%</p>

八幡小学校

創立年月日 昭和48年4月1日
学級数 27学級 校長 輿水 功
児童数 817人 教頭 長谷川 晃



<p><教育目標> 勉強する子 良い子 強い子</p> <p><研究主題> 主体的に学ぶ児童の育成 ～算数科の授業づくりを通して～</p> <p><重点教科等> 算数 <特色ある学校づくりへの取組></p> <p>(1) キャッチフレーズ 「子どもたちがよきや可能性を發揮できる八幡小」</p> <p>(2) 取組内容 ①「やる気で勉強」 ・確かな学力の定着(授業の工夫改善・学習規律の確立) ・意欲的に学ぶ力(家庭学習の習慣化) ②「はっきりあいさつ」 ・豊かな心の育成(元気なあいさつ、返事、靴そろえ、本とのふれあい一人20冊) ・基本的生活習慣(早寝、早起き、朝ご飯) ③「たくさん運動」 ・体力の向上(課題の克服・投力・走力・跳躍力) ・主体的な体力づくり(一日一回汗をかく、グリーンコース100周、休まないで登校) ④地域人材やボランティアの支援・協力で安全安心な学校生活(防犯ボランティアみはるくんととの交流等)と農業体験(枝豆等)</p> <p>(3) 成果 ①全国学力学習状況調査の「算数B:主として活用」において、県平均を0.3ポイント上回った。 ②グリーンコース100周達成95%超 市内陸上競技大会において全種目に入賞者を出した。</p>
--

新栄小学校

創立年月日 昭和49年4月1日
学級数 16学級 校長 三好 正浩
児童数 487人 教頭 岡田 安弘



<教育目標> なかよく かしくく たくましく
<研究主題> 生き生きと学び、確かな学力を身に付ける児童の育成
<重点教科等> 算数科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
新栄スタンダード
「あたり前の事があたり前にできる」
(2) 取組内容
①「一人ひとりの子どもたちが輝く学校」を目指す学校像とし、確かな学力を育む教育や笑顔・潤い・心に響く特色ある教育活動の推進
○学習規律の確立や基礎・基本の定着や豊かな人間性とコミュニケーションを育む教育の推進
○読書タイム・算数タイム・国語タイム、さわやかタイム等の取組の充実
②「笑顔いっぱい 瞳輝く新栄っ子」の実現に向けた特色ある教育活動
○あいさつ運動・なかよしタイム・植栽活動・スカイラウンジ給食等の食育指導の充実
③「世代を超えた平成塾との交流」による豊かな体験活動
○昔遊び・折り紙・フォークダンス・茶道等
(3) 成果
絆を深め、地域と共に歩む開かれた学校づくりの推進や安全で安心な環境づくりへの努力に対して保護者・学校関係者から高評価を得ている。

清門小学校

創立年月日 昭和51年4月1日
学級数 31学級 校長 石崎 明子
児童数 1015人 教頭 野原 修
教頭 大澤 英雄



<教育目標> なかよく かしくく たくましく
<研究主題> 基礎・基本を確実に習得し、問いをもって主体的に学習する子の育成
<重点教科> 算数科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
『にこ、はい、ピン』
～笑顔であいさつ、はっきり返事、背すじをピン!～
(2) 取組内容
①なかよくの具体化
・いじめはしない、させない、ゆるさないを基本方針
・「笑顔であいさつ」の推進
・道徳教育・人権教育・特別支援教育の充実を通しての豊かな心の育成
・「環境が人を育てる」安全で清潔な教育環境の整備、言語環境を整え信頼関係に基づいた好ましい人間関係の醸成
②かしくくの具現化
・小中一貫教育の推進、幼保との連携の推進
・学習規律の徹底、「はっきり返事」「背すじをピン」
・読書の励行、学校図書館活用の推進
・保護者の協力のもとによる家庭学習の定着
・「算数科」における指導法の工夫・改善
③たくましくの具現化
・体育授業時の十分な準備運動時間と運動量の確保、体育的行事への積極的な参加
・家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」
(3) 成果
○豊かな心の醸成により、学校中で、元気な明るい声でのあいさつが飛び交うようになってきている。
○授業改善が進み、学力の向上が図れている。

稲荷小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
学級数 18学級 校長 柳武 尚広
児童数 500人 教頭 永沼 次郎



<教育目標> 自ら学び 心豊かに たくましく
<研究主題> 学び合い、関わり合い、自らの学びを深める児童の育成
～国語科授業のユニバーサルデザインを通して説明文の論理的な読みの力を高める工夫～
<重点教科等> 国語科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
花さく 夢さく 笑顔さく 明日への希望 いなりっ子
(2) 取組内容
①授業のユニバーサルデザイン化
②あいさつ、廊下歩行、無言清掃、名札の着用の徹底、いじめ撲滅
③運動の喜びを感じられる授業
④外遊びの励行、むし歯ゼロ、性に関する啓発指導、薬物乱用防止教室、携帯電話に関する指導、安全教育の充実、食育の推進
⑤掲示教育の充実と施設・設備の安全管理の徹底
⑥松江中との小中一貫教育の推進
⑦パトロールステーション、見守り隊、学校評議員との連携
(3) 成果
①全ての児童に説明文を論理的に読ませるための研究を推進することで、国語科の授業改善を図ることができた。
②開校40周年記念事業等を通し、地域に根ざす教育が推進され学校・家庭・地域が一体となった教育活動の充実が図れた。

氷川小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
学級数 19学級 校長 西垣内きよみ
児童数 553人 教頭 皆川 賢司



<教育目標> 学びあい 助け合って 自分を高める
<研究主題> 未来に向かう力を持った氷川っ子の育成
～「学びの土台」の充実と「活用する力」の育成～
<重点教科等> 国語科・算数科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
潤いと響き
子どもたち一人ひとりを大切にするあたたかな学校
(2) 取組内容
①子どもたち一人ひとりが伸びる学校
(教育課程を完全実施し、授業の質を高める)
②子どもたち一人ひとりが生き生きとする学校
③保護者・地域とともに歩む学校
④教育環境を大切にする学校
(3) 成果
①平成26年度から3年間市の教育委員会委嘱で研究を行い、平成28年度には発表会を行った。
3年間の研究のまとめとして、伝え合うことに重点を置いた研究を展開した。その結果授業が活性化し、意欲が高まるとともに学力向上に有効であった。
②一人ひとりを大切にする教育活動を全ての教育活動で展開したことで、自己有用感が高まり、自信を持ちながらも他者を思いやる場面が多く見られるようになった。

八幡北小学校

創立年月日 昭和54年4月1日
学級数 14学級 校長 村山 岳視
児童数 461人 教頭 奥村 勇



- <教育目標>
なかよく (徳) かしこく (知) たくましく (体)
- <研究主題>
自分の思いや考えを適切に伝え合う活動を通して、友達と豊かに関わり合える児童の育成
- <重点教科等>
国語科
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
「咲け 実れ 八北の子」
- (2) 取組内容
- ①自ら学ぶ力を育てる
○学習規律の徹底と学習指導の充実
○国語教育の充実
 - ②豊かな人間性を養う
○道徳教育の充実
○人権教育の充実
○学校図書館教育の充実
○生徒指導・教育相談の充実
 - ③たくましく生きる力を養う
○体力向上と健康教育の充実
○幼・保・小・中との連携、一貫教育
- (3) 成果
- ①基本的な生活習慣・学習規律が身に付いてきている。
 - ②昨年度までの体育科の研究により、充実した学習活動が成立し、運動に親しむ児童が多くなった。
 - ③交流活動を通し、豊かな心の育成が図れた。
 - ④読書活動を通し、本に親しむ習慣が身に付いた。

長栄小学校

創立年月日 昭和55年4月1日
学級数 16学級 校長 水澤 節子
児童数 466人 教頭 平野 晴彦



- <教育目標>
よく考える子(知) 思いやりのある子(徳) たくましい子(体)
- <研究主題>
子どもの心が動き出し、深い学びを生み出す算数授業の創造
- <重点教科等>
算数科、幼保小中一貫教育
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
「夢に向かってがんばり続ける子」
- (2) 取組内容
- ①学ぶ力を伸ばす授業の実施
◇基礎・基本の確実な定着
◇意欲を引き出す算数の授業研究
◇伝える、話し合う等の言語活動の充実
 - ②人、本、自然とのふれあい体験の実施
◇読書・音読活動・ペア学級の活動の充実
総合的な学習の時間での学習環境の充実
 - ③地域や平成塾との連携・交流
◇平成塾による読み聞かせ・茶道教室等
◇地域によるぼうはん隊活動
- (3) 成果
- ①基礎学力の定着が図られている。
 - ②地域の協力を得ることが多く、連携や開かれた学校づくりに成果を上げていた。(保護者アンケートから)
 - ③算数の研修を進めることで、児童が達成感を味わう授業を推進できた。
 - ④幼保小中一貫の合同研修、職員の保育体験研修、作品交流、合同行事の実施など幼保小中一貫教育がさらに充実してきている。

青柳小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
学級数 14学級 校長 益岡 和正
児童数 395人 教頭 村田 隆一



- <教育目標>
あ：明るく元気な子 お：思いやりのある子
や：やりとげると ぎ：きたえる子
- <研究主題>
自ら学び、共に高め合い、最後まで『やりとげると』の育成
～小中一貫教育の視点とアクティブラーニングの手法を通して～
- <重点教科等> 国語科 算数科
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
「明るく 元気で 笑顔かがやく 青柳小」
- (2) 取組内容
青小っ子の基礎・基本の定着
- ① 学力向上 (やりとげると)
・授業の充実と家庭学習の定着
・幼保小中連携をいかした授業づくり
 - ② 体力向上 (きたえる子)
・生涯スポーツの視点に立った体力づくり
・授業力の向上
・外遊びの奨励
 - ③ 豊かな心 (思いやりのある子)
・道徳教育の充実
・特別支援教育の推進
・規律ある態度の充実
- (3) 成果
- ・基礎学力の向上が見られ、読書量が増加した。
 - ・児童の学び合い、認め合いの態度が身に付き、学習意欲が向上した。
 - ・学習過程が統一されてきて、児童が安心して学習に取り組めた。

小山小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
学級数 14学級 校長 山根 明
児童数 434人 教頭 渡部 涼子



- <教育目標>
進んで学ぶ子、体をきたえる子、思いやりのある子
- <研究主題>
基礎基本を身に付け、生き生きと学び合う児童の育成
- <重点教科等>
国語科
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
「学びいっぱい、友だちいっぱい、汗いっぱいの
夢ふくらむ学校」
- (2) 取組内容
- ①基礎学力の定着
・基礎・基本の確実な定着をめざしたドリル学習の実施
・学び合いのできる学習集団づくり
・小山小授業の約束の徹底指導
 - ②健康・体力の向上
・運動量豊富な体育授業の実施 ・積極的な外遊びの励行
・運動と望ましい食習慣の育成
 - ③「小山小5つのします」の徹底指導
・命を大切にします ・あいさつをしっかりとします
・友だちとなかよくします ・そうじを一生懸命します
・家庭学習をします
- (3) 成果
- 家庭学習の取り組みが定着しつつある。
 - 漢字や計算の学習を意欲的に取り組む児童が増えてきた。
 - 地域・保護者・学校が一体になり「わがまち小山っ子」の安全と育成が図られている。

両新田小学校

創立年月日 昭和 57 年 4 月 1 日
学級数 15 学級 校長 鈴木 輝子
児童数 428 人 教頭 加藤 治



<p><教育目標> 進んで学ぶ子 やさしい子 たくましい子</p> <p><研究主題> 能動的に取り組む児童を支える授業の設え ～達成感・成就感による自己肯定感の育成をねらって(算数科をとおして)～</p> <p><特色ある学校づくりへの取組></p> <p>(1) キャッチフレーズ 「かがやく笑顔 ～一人ひとりを大切にす両新田小の教育～」</p> <p>(2) 取組内容</p> <p>①両小っ子の基礎・基本の徹底</p> <ul style="list-style-type: none">・両新田小スタンダードの充実とICTの活用で授業改善・チャレンジタイム、サマースクールの実施で基礎学力の定着・「家庭学習の手引き」を踏まえた家庭学習の充実 <p>②規律ある態度（基本的生活習慣の確立）</p> <ul style="list-style-type: none">・「礼を正し・場を清め・時を守る」草加っ子の基礎・基本の徹底・積極的な生徒指導ときめ細かい教育相談の充実 <p>③健康で心豊かな児童の育成</p> <ul style="list-style-type: none">・「体育朝会」やラジオ体操推進校としての取組の充実・「早寝・早起き・朝ごはんカード」「お手伝いカード」の実践による家庭への啓発・朝読書、兄弟学年交流活動（ハッピーペアタイム）の推進 <p>④家庭・地域との連携の充実</p> <ul style="list-style-type: none">・学校公開、授業参観の工夫（サタデースクールの活用）・下校時見守りパトロール、読み聞かせ、環境整備等の充実 <p>⑤幼・保・小・中一貫教育研究協力団体としての取組</p> <ul style="list-style-type: none">・小中一貫連絡協議会、合同研修会の実施・小中連携あいさつ運動、幼保との交流活動・交流給食の実施 <p>(3) 成果</p> <ul style="list-style-type: none">・「算数科」の研究を通して、授業改善が図られている。・家庭・地域に見守られ、明るく心やさしい児童が多い。

松原小学校

創立年月日 平成 21 年 4 月 1 日
学級数 14 学級 校長 入内島 均
児童数 383 人 教頭 小林 和美



<p><教育目標> 心身ともに健康で、自ら学ぶ子</p> <p><研究主題> 『主体的・対話的で深い学びの授業の創造』</p> <p><重点教科等> 学力向上「国語科」を中心とした取組</p> <p><特色ある学校づくりへの取組></p> <p>(1) キャッチフレーズ 『みんなで力を合わせ、元気いっぱい、 笑顔いっぱいの学校』</p> <p>(2) 取組内容</p> <ul style="list-style-type: none">○全国及び県、草加市の学力・学習状況調査の結果検証から課題解決に着実に取り組み、確かな学力の向上を目指す。○小中学校との連携による外国語活動の充実を図る。家庭学習の啓発により「自ら学ぶ」子の育成を推進する。○学校応援団等の地域の教育力を活用した自然・社会体験的な教育活動のより一層の充実を図る。○朝のあいさつ運動を地域の方や保護者と共に推進し、毎日元気で笑顔いっぱいの心豊かな児童育成を目指す。○「すこやかタイム（業間マラソン・なわとび）」で「たくましい体」づくりを推進する。○『響き合う歌声いっぱい』『季節と心情あふれる俳句づくり』『地域の愛情に満ちた読み聞かせ』松原小ならではの特色ある学校づくりを継続推進する。 <p>(3) 成果</p> <ul style="list-style-type: none">○「歌声」「挨拶」「俳句」を校風として、児童一人ひとりの個性を大切にされた教育活動が充実してきている。○授業の工夫・改善をPDCAサイクルで検証・実践し、環境を整備する中で児童への確実な学力の定着が図られてきている。

市立中学校の紹介

(生徒数・学級数は、平成29年5月1日現在)

学校紹介の内容

- <教育目標>
- <研究主題>
- <重点教科等>
- <特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
- (2) 取組内容
- (3) 成果

など

草加中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 25学級 校長 並木 正成
生徒数 816人 教頭 高橋 整



- <教育目標>
目標を持ち努力する生徒
 - <研究主題>
幼保小中一貫教育研究課題
「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる 子どもをはぐくむ」
～ 自己肯定感を育む草加の教育 ～
 - <重点教科等>
全教科・領域
 - <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
「あ・か・つ・き」の実践
 - (2) 取組内容
 - ①幼保小中の一貫した教育を通して、校区内の幼保小との連携を深め、分かる授業の実践と基礎・基本の定着に取り組み、豊かな人間性と確かな学力の向上を図る。
 - ②生徒の目指す「あかつき」を支援する。
あ・・・明るい あいさつ（規律）
か・・・活発な かつどう（自主）
つ・・・強い つながり（友情）
き・・・今日を きり開く（向上）
 - ③授業や部活動を積極的に推進し、学力・体力の向上を図る。
安全・安心な教育環境を整備し健康教育の充実を図る。
 - (3) 成果
 - ①向上心を持ち、共に協力し合い、意欲的な学校生活を送り、明るく活発な学校の雰囲気が醸成された。
 - ②漢字・計算・スプリングの各コンテストを実施し、基礎・基本の定着を図ることができた。
 - ③部活動は、市内予選会で上位の成績を収め、県大会出場を果たし、文武両道を実践することができた。

栄中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 17学級 校長 橋本 政幸
生徒数 537人 教頭 遠藤 淳一



- <教育目標> ○自ら学び考え行動する生徒
○豊かな心を持ち思いやりのある生徒
○健康でたくましい生徒
 - <研究主題>
「ICT教材を効果的に活用し、教員の指導力や生徒の学力向上を図る」
 - <重点教科等> 全教科等
 - <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
「いいとこ探しの学校」
【さ】爽やかなあいさつ
【か】輝く笑顔
【え】英気あふれる
 - (2) 取組内容
 - ①各教科の基礎・基本の定着及び確かな学力の向上
・補充学習・言語活動の充実・アクティブラーニング
 - ②生活指導の充実
・あいさつ・言葉遣い・規範意識・授業態度
 - ③学校行事の充実
・目標の明確化・体験活動の推進・ボランティア活動
 - ④環境教育の充実
・清掃活動・緑化活動・リサイクル活動・さかえ農園
 - ⑤豊かな心の育成
・いじめ、暴力の根絶・人権、命の尊重・道徳教育
 - (3) 成果
 - ①粘り強い取り組み姿勢から、学習内容が身に付くようになり、自己実現を図ることができるようになってきた。
 - ②規範意識をもち、落ち着いて生活する生徒が多くなった。
 - ③学校全体で除草やゴミ拾いなどを行い、環境を整えようとする姿勢・ボランティア精神を育てることができた。

谷塚中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 20学級 校長 中村 常雄
生徒数 659人 教頭 中谷 浩一



- <教育目標> ○学び合う生徒（知）
○思いやる生徒（徳）
○高め合う生徒（体）
 - <研究主題>
小中一貫教育の取組を柱とする指導法の研究
～生徒一人ひとりに確かな学力を身につけさせる指導法の確立～
 - <重点教科等>
全教科・道徳
 - <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
「文武両道」
 - (2) 取組内容
 - ①「わかる授業」による確かな学力の育成
・数学（1年）、英語（3年）の少人数指導の充実
・授業力向上を中心とした研修の充実
・家庭学習ノート等を活用した学習習慣の確立
 - ②学校間連携を図ったキャリア教育の充実
・谷塚小、氷川小、草加南高校とも連携、交流
・近隣高校との出前授業の実施と学ぶ意欲の向上
 - ③地域社会との交流を通じた豊かな心の育成
・地域、保護者の人材をいかした教育活動
・部活動指導の充実
・地域行事の積極的な参加
・あいさつ運動、学校めぐり等の実施
 - (3) 成果
地域や学校間連携等の交流を通し、さわやかなあいさつの定着、主体的な学習活動への取組、部活動の積極的な参加、学校行事や地域行事等への積極的な態度が育成された。

川柳中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 16学級 校長 車 浩
生徒数 478人 教頭 分須 清博



<教育目標>
「賢く・優しく・逞しく」

<研究主題>
「15年間の育ちを支える幼保小中を一貫した教育」
～『学力向上』と『自己肯定感の育成』をめざして～

<重点教科等>
全教科・領域

<特色ある学校づくりへの取組>
(1) 目指す学校像
『自ら学び、心豊かで、逞しい生徒と、それを支える教育愛に満ちた教職員が集う学校』

(2) 取組内容
①「主体的、対話的で深い学び」の視点での授業改善を図り、「できた」「わかった」「知りたい」「すごい」など、生徒の心が揺れ動く授業の工夫
○生徒・学級・学校全体の実態や課題を把握し、さらなる改善につなげる検証改善サイクルを確立し、学力向上プランを作成。
②生徒を認め、鍛え、育む中での自己肯定感の育成
○全職員の共通理解に基づいた校内指導体制を確立し、授業規律の確保や校内規律の徹底を推進する。
③幼保小中一貫教育の推進
○小中学校間で連絡協議会を組織し、目指す子ども像、幼保小中15年間を通した教育課程を編成する。

(3) 成果
学校評価アンケートでの、「授業はわかりやすく、楽しい」「授業の5原則を守るよう心がけている」は、昨年に引き続き向上している。また、「部活動に積極的に取り組んでいる」も向上しており、「自己肯定感の向上」を目指した取組の効果で、学習・部活動、その他の諸活動に積極的に関わる生徒が増えている。

新栄中学校

創立年月日 昭和49年4月1日
学級数 19学級 校長 川原田 一郎
生徒数 603人 教頭 高安 健次



<教育目標> 1 自ら学ぶ生徒 (知)
2 思いやりのある生徒 (徳)
3 健康でたくましい生徒 (体)
4 正しい行動のできる生徒 (社会性)

<研究主題>
「基礎学力の向上と家庭学習の充実」
学力向上とスキル教育をとおして、生きる力を育む

<重点教科等>
全教科・領域

<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「明るく活力のある新栄中学校」

(2) 取組内容
①知一朝読書、基礎基本を重視した授業、基礎学力テスト
授業6ヶ条、英語検定、漢字検定、学習相談
②徳-P.T.Aとの朝のあいさつ運動、
環境教育(学校ビオトープ、野鳥観察会)
全校で協力して取り組む行事(体育祭、文化祭)
③体-基礎体力づくり、種目選択体育授業、活発な部活動
④社会性-スキル教育、体験型学習
⑤中高の連携-リトルティチャーによる国語(書写)、理科等の教科での交流
⑥小中連携の推進(数学科・英語科の乗り入れ授業の実施、合同研修会、合同野鳥観察会)

(3) 成果
朝読書や授業をとおして、基礎基本の定着及び学力の向上が図れた。また、環境教育やスキル教育の実践により、豊かな心や社会性が着実に身に付いてきている。

瀬崎中学校

創立年月日 昭和51年4月1日
学級数 21学級 校長 川崎 淳一郎
生徒数 716人 教頭 橋本 哲



<教育目標>
自らの生き方を考え、実践する生徒の育成「よりよく生きる」

<研究主題>
○自らの生き方を考え、実践できる生徒の育成
～学びと心を結ぶ9ヶ年の継続指導をとおして～

<重点教科等>全教科・領域

<特色ある学校づくりへの取組>
(1)①あいさつ日本一 ②響きわたる合唱 ③心を込めた清掃
④活力ある部活動 ⑤一人ひとりの違いやよさを認め合う学校

(2) 主な内容
①幼保小中連携、一貫に向けた交流の推進
・体育授業交流、他授業見学、運動会大縄跳び・運動交流等
②生活習慣の定着
「授業の5原則」・授業の用意をして待つ・チャイム着席
・あいさつしっかり・忘れ物をしない・むだ話をしない
③基礎学力、学習態度の定着
・意欲・関心を高める授業の展開、一人ひとりを大切に
する授業の工夫、体験の充実(3年保育実習、性出会い学習等)
④教育環境の整備
・あいさつ運動(生徒・職員・保護者での愛の一声運動)、
ボランティア活動(高齢者運動会)、瀬中宣言にもとづく
生徒会と専門委員会活動、文化会館での合唱コンクール、
朝清掃と部活ボランティア清掃等美化活動の充実、地域の
催しへの参加
・部活動(外部活動)への積極的参加と活動内容の充実

(3) 成果
・地域の方々とのふれあいや様々な体験を通し、認め合い共に
生きる心が培われている。一人ひとりを大切にしたい生徒
の興味関心に応じた学習や違いやよさを認める行事、活動
を通して、助け合う気持ちや思いやりの心が育ってきている。

花栗中学校

創立年月日 昭和52年4月1日
学級数 14学級 校長 野村 真一
生徒数 439人 教頭 阪田 晴紀



<校訓> 「自主創造」

<教育目標> 「自ら考え、心豊かに、たくましく生きる」
○ 学力を伸ばす生徒 (知)
○ 豊かな心を育てる生徒 (徳)
○ 心身共に健康な生徒 (体)

<学校生活の指針>
「生きる力4カ条」 1 時間を守る力
2 授業に真剣に臨む力
3 身だしなみを整える力
4 わきまえた言葉遣いのできる力

<研究主題>
「言語活動を充実し、生徒一人ひとりが主体的に取り組む授業づくり」
・学ぶ力を身に付ける生徒の育成
・豊かな心を育む道徳の時間の充実

<重点教科等> 全教科・領域

<特色ある学校づくりへの取組>
(1) めざす学校像「夢、ふれあい、感動のある学校」

(2) 取組内容
①学習指導の充実
・分かる授業の推進と基礎学力の定着
・授業規律の確立、家庭学習を習慣化させる取組
②生徒指導・教育相談の充実
・「目をかけ、手をかけ、声をかける」指導の促進
③豊かな心を育む教育の推進
・生きる力4カ条の実践 ・道徳教育の充実
④心潤う生活環境づくり
・「ふれあい広場」、「憩いの花空間」の有効活用

(3) 成果
P.T.A活動への積極的な参加・協力及び地域の方々の理解・
協力により、生徒たちは授業や行事に主体的に取り組んでいる。

両新田中学校

創立年月日 昭和54年4月1日
学級数 17 学級 校長 水澤 郁夫
生徒数 510人 教頭 土谷 守人



<教育目標>
自ら学び 心豊かに たくましく
<研究主題>
生徒一人ひとりを大切に、夢と絆を育む学校
<重点教科等>
・学ぶ楽しさを味わわせる授業の充実
・自己肯定感を持たせる生徒指導の充実
・いじめのない学校
・道徳教育の充実
・幼保小中一貫教育の推進
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
生徒一人ひとりを大切にする教育の実現
(2) 取組内容
○一人ひとりに基礎基本を身に付けさせる (生徒理解に基づく指導と評価の実践)
○一人ひとりのよさや可能性を見だし伸ばす (生徒に内在するものを引き出す教育力)
○一人ひとりの命・健康を守る (共助の学びと絆づくり、学校安全)
(3) 成果
一人ひとりを大切にするという基本方針に係る理念がさらに定着・浸透し、それぞれの教育活動において、全教職員の共通理解のもと指導改善が進められた。さらに、「授業」を核として、学ぶ意欲の向上や一人ひとりの個性の伸びを重視する具体策を展開するなど、一層の学校改善に努めることができた。

新田中学校

創立年月日 昭和55年4月1日
学級数 16 学級 校長 笠井 誠司
生徒数 536人 教頭 平澤 俊一



<教育目標>
豊かな心と学ぶ意欲をもち 広い世界でたくましく生きる生徒
<研究主題>
自ら学び、心豊かに、たくましく生きる ～ 新田中生15歳の姿 ～
<重点教科等> 全教科・領域
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
大きな夢 明るいあいさつ 美しい心 きれいな学校
(2) 取組内容
☆自ら学び 【基礎学力】
・自ら考え学ぶ意欲の向上を目指す。 基礎、基本の習得と活用 主体的・対話的で深い学びの追究
☆心豊かに 【規律ある態度】
・豊かな心、美しい心の育成を目指す。 規律ある生活の徹底(礼を正す、場を清める、時を守る) 特別活動の充実(行事をとおして子どもを育てる)
☆たくましく 【健康・体力】
・心身が健康でたくましい生徒の育成を目指す。 保健教育、安全教育の充実、防災教育の推進 生徒指導・教育相談の充実
☆「学び」と「心」 【子ども教育連携推進】
・中学校区の幼保小中の連携を図る。 「幼保小中を一貫した教育」の研究 「ペアスクール」としての交流活動の充実
(3) 成果
様々な学習活動・体験活動をとおして、生徒の学ぶ意欲と豊かな心を日々育てている。

青柳中学校

創立年月日 昭和56年4月1日
学級数 14 学級 校長 及川 祐一
生徒数 478人 教頭 佐久間郁男



<教育目標>
自ら考え実践する生徒 (知) 心豊かで思いやりのある生徒 (徳) 健康でたくましい生徒 (体)
<研究主題>
不登校解消に向けた学力向上と幼保小中連携の取組の研究
<重点教科等>
全教科・領域、教育相談・生徒指導
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「生徒が輝き、教師が輝き、地域も輝く、自ら誇れる青柳中」 育もう青中4つの心&伝えよう青中4つの誇り ～4つの心～ あ・明るい心 お・思いやりの心 や・やり抜く心 ぎ・正義の心 ～4つの誇り～ 「挨拶」 「歌声」 「集会」 「部活動」
(2) 取組内容
① 基本的生活習慣や行動様式の定着 (凡事徹底、無言集会、積極的な生徒指導)
② 授業規律の確立、自ら学ぶ学習意欲の育成 (授業前着席、家庭学習ノート、研究授業の実施)
③ 幼保小中連携の推進 (小学校でのあいさつ運動・小中合同引取り訓練)
④ 生涯を通じた健康・体力づくりの推進 (授業や部活動での体力向上、食育・健康教育)
⑤ 互いに尊重し合い、いじめのない学校 (人権教育、ピアサポート活動)
(3) 成果
① 学習規律を大切に授業実践により基礎・基本の定着
② あいさつ・礼儀を身に付けた良好な人間関係の定着
③ 意欲的な部活動をとおした健康な心身の育成

松江中学校

創立年月日 昭和60年4月1日
学級数 14 学級 校長 小林 和広
生徒数 437人 教頭 小林 一男



<教育目標>
ま：学ぶ意欲のある生徒 <かしこく> つ：強い心と体をもつ生徒 <たくましく> え：笑顔あふれる生徒 <あたたかく>
<研究主題>
学力の向上と豊かな心の育成を目指して ～小中一貫教育の取組から～
<重点教科等>
全教科・全領域
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「笑顔あふれる、松江中」
(2) 取組内容
① 小中一貫教育推進部会の設置 (小中の教頭、教務、研究主任等で組織)
② 教科会の充実と授業研究の裏と指導計画の不断の見直し
③ 学校課題の共通理解と課題解決を目指した研修会の実施
④ 義務教育9年間を見通した小中一貫教育の取組
(3) 成果
「学力向上」「道徳教育の推進」「進路指導の充実」を具現化すべく、「学習意識の高い生徒」「あきらめない強い心をもつ生徒」「目標をもった生活ができる生徒」を目指す生徒像とし、保護者・地域の方々の協力と理解を得て、教職員が一丸となって「笑顔あふれる学校」創りを推進している。

Ⅲ 生涯學習

地域の力をはぐくむ生涯学習活動の推進

1 生涯をとおした多様な学習機会の充実

(1) 草加市社会教育委員

社会教育の助言機関として、生涯学習基本計画の進捗状況の検証、生涯学習が直面する諸問題について協議し、草加市にふさわしい生涯学習社会の構築を図ります。

(2) 生涯学習情報提供サイトの運用

学習情報の収集・提供、講座や教室への参加申し込み、指導者やサークルの活動紹介及び学習相談などの機能を持ち、市全域にわたる生涯学習情報を検索できるインターネット上のサイトを運用し、市民の活用を進めます。

(3) 指導者バンクの活用

生涯学習に関する専門的な知識や経験、技能等のある人を生涯学習指導者として発掘、登録し、その情報の提供及び活用を図ります。

指導者バンク制度の周知及び指導者の活動の場を広げるために、生涯学習体験講座を開催します。

指導者バンク

年度	登録者数	活用者数
H26	96人	32人
H27	80人	32人
H28	87人	47人

(4) 生涯学習情報紙等の発行

市民への生涯学習情報発信のため、生涯学習情報紙『マイ・ステージ』を発行します。市内で活動しているサークルの情報をまとめたガイドブックを隔年で発行します。

(5) そうか市民大学の充実

「人をつくる・人と出会う・まちをつくる」を建学の理念とし、市民との協働による生涯学習社会の構築のため、市民大学推進委員会とともに講座の企画・運営を行います。

開学13年目を迎える本年度は、前期・後期講座、特別公開講座を開講します。

(6) 大学公開講座への支援

獨協大学オープンカレッジの講座及び上野学園大学短期大学部の公開講座を支援します。

(7) 社会教育関係団体の育成

社会教育に関することを主な目的として活動する社会教育関係団体の登録や活動支援を行います。

社会教育関係団体

年度	登録団体数
H26	452団体
H27	448団体
H28	431団体

(8) 新成人のつどいの開催

社会を担う成人としての自覚と自立を促すとともに、ふるさと意識を高め、地域貢献の心をはぐくむ機会として、新成人のつどいを開催します。

(9) 子ども大学そうかの開校

子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくみ、地域で子どもを育てる仕組みをつくるため、

獨協大学との共催により開校します。身近なテーマについて、大学教授や専門家が、楽しく、分かりやすく講義します。

2 生涯学習施設の整備とネットワーク化の推進

(1) 生涯学習施設の整備

市内公民館・文化センター及び栄小学校開放施設の一般使用について、施設の適正な管理・維持を図るとともに、事業の充実に努めます。

(2) 平成塾の管理運営

地域の高年者の触れ合いや生きがい、共同学習の場として、また、地域の子どもたちとの世代間交流の場として、平成塾の活動を支援します。

文化遺産の保存と活用

(1) 文化財の保存・活用

貴重な文化遺産を郷土の文化財として保存・活用するために、指定文化財のパトロール及び埋蔵文化財包蔵地の管理を行います。

市内小学校に入学した新1年生に対し、『草加お宝かるた』を配付することで、子どもたちの郷土に対する愛着と誇りを醸成します。

(2) 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関して審議するとともに、必要と認める事項を建議します。

(3) 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の保存・活用

国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」保存活用計画に基づき、末永く草加松原の景観の保存活用が図られるよう体制整備に努めます。

(4) 歴史講座

市民を対象に、草加の歴史に関する様々なテーマで講座を開催します。

年 度	テ ー マ
H26	日光市「ガンマンガ淵を訪ねて」として、同市内の浄光寺、化け地藏、憾満ヶ淵、松尾芭蕉句碑その他を見学
H27	草加近在の地域文化などをテーマとし、毎月歴史講座や企画展講座を開催（「日光道中(街道)と参勤交代」や草加宿前史、更級日記から見た関東の支配状況など）
H28	草加近在の地域文化などをテーマとし、毎月歴史講座や企画展講座を開催（「日光道中(街道)と参勤交代」や「地名そうかの表記とその年代」、「吾妻鏡と静御前」など）

生涯学習施設の紹介

○公民館

〔中央公民館〕

開館年月：昭和41年7月

(昭和56年10月移転)

所在地：草加市住吉二丁目9番1号

電話番号：922-5344

FAX番号：925-0152

構造・面積：鉄筋コンクリート造3階建

延床面積 4,497.91m²

敷地面積 6,220.10m²

・施設内容 (単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	415	第2体育室	84
第1会議室	46	視聴覚室	60
第2会議室	24	美術工芸室	20
第3会議室	26	第1講座室	54
クラブ室	18	第2講座室	37
調理室	40	図書室	—
和室研修室	35	ギャラリー	—
第1体育室	167		

平成29年度主要事業：小学生の職場訪問、伝統文化教室、土曜事業、にじいろタイム、SKT24スポーツ吹矢体験講座、SKT24高齢者健康エクササイズ、チャレンジ！シニア講座、青少年コンサート、ムーンライトコンサート、第45回中央公民館まつり、第26回中央公民館美術展、ギャラリーミニアラカルト ほか

〔柿木公民館〕

開館年月：昭和44年5月(平成14年9月移転)

所在地：草加市柿木町1263番地

電話番号：931-3117

FAX番号：933-2501

構造・面積：鉄筋コンクリート造2階建

延床面積 970.27m²

敷地面積 1,976.28m²

・施設内容 (単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	130	和室会議室	20
調理実習室	20	会議室	30
実習室	24	図書室・学習室	—

平成29年度主要事業：第49回柿木公民館まつり(第10回柿木郷土まつり)、柿木子ども新聞発行、子ども自遊空間、第16回柿木親子クリスマス会、自然観察教室、親子で元気ルーム、高齢者の元気ルーム、成人文化講座、スプリングコンサート、SKT24柿木みんなでラジオ体操、柿木の芸術家たち展 ほか

〔谷塚文化センター〕

開館年月：昭和52年1月

(平成19年4月移転)

所在地：草加市谷塚仲町440番地

電話番号：928-6271

FAX番号：928-6272

・施設内容 (単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
相談室	20	第1楽屋	12
第1学習室	60	第2楽屋	6
第2学習室	50	中会議室	30
実習室	45	小会議室	20
第1和室	35	家庭科室	45
第2和室	25	図書室	—
ホール	300	託児室	—

(家庭科室、図書室は小学校との共用施設)

構造・面積：鉄筋コンクリート造4階建

延床面積 2,330m²

敷地面積 18,756m²

(敷地面積は、谷塚小学校、谷塚児童クラブを含む)

平成29年度主要事業：小学生との世代間交流、高年者学級、すくすくクラブ、第39回谷塚文化センターまつり、第15回地域音楽のつどい、綾瀬川コーラス教室、谷塚少年少女合唱教室、ロビーコンサート、子ども相撲教室、10周年記念イベント ほか

〔川柳文化センター〕

開館年月：昭和55年4月

所在地：草加市青柳六丁目45番17号

電話番号：936-4088

FAX番号：930-1509

構造・面積：鉄筋コンクリート造3階建

延床面積 1,359.23m²

敷地面積 3,301m²

平成29年度主要事業：夏休み子ども教室、公民館ボランティア講座、高年者のたまり場「ひびき」、第38回川柳文化センターまつり、吹奏楽演奏会 ほか

・施設内容 (単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
体育室	200	和室研修室	30
クラブ室	20	調理室	30
視聴覚室	30	図書室 学習室	-
会議室	50		
実習室	30	託児室	-

〔新田西文化センター〕

開館年月：平成22年4月

所在地：草加市清門三丁目49番地1

電話番号：942-0778

FAX番号：946-1508

構造・面積：鉄骨造2階建

延床面積 1225.48m²

敷地面積 2136.79m²

平成29年度主要事業：子どもサマーランド、放課後クラブ、家庭教育学級、高年者学級「笑いのつどい」、SKT24地域はつらつ元気体操教室、第5回伝統芸能発表会、第8回新田西文化センターまつり ほか

・施設内容 (単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	200	和室	20
第1会議室	24	調理室	24
第2会議室	36	図書コーナー	-
第3会議室	54	託児室	-
実習室	24	準備室	-

〔新里文化センター〕

開館年月：平成26年4月

所在地：草加市新里町983番地

電話番号：927-3362

・施設内容 (単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	193	和室	24
第1会議室	24	調理室	30
第2会議室	45	図書コーナー	-
第3会議室	40	託児室	-
実習室	24	準備室	-

FAX番号：920-1504

構造・面積：鉄骨造2階建

延床面積 1373.48m²

敷地面積 2373.38m²

平成29年度主要事業：子どもクラブ、子ども環境学習教室、伝統文化教室、のびのび広場、すくすくクラブ、高年者学級、いきいき楽集クラブ、SKT24地域はつらつ元気体操教室、第4回新里文化センターまつり ほか

○歴史民俗資料館

開館年月：昭和58年11月

所在地：草加市住吉一丁目11番29号

電話番号：922-0402

FAX番号：922-0402

構造・面積：鉄筋コンクリート造2階建

延床面積 696m²

敷地面積 766.18m²

・来館者の推移

年度	来館者数
H26	16,238人
H27	16,763人
H28	15,471人

郷土の歴史資料や民俗資料などを収集・保管・展示することにより、教育・学術・文化の発展に寄与することを目的とし、昭和58年11月に開館しました。

建物は、大正15年に県下初の鉄筋コンクリート造校舎として建設された草加小学校西校舎を改修したものです。耐震・耐火に優れ、また、屋上にドッジボールなどをして遊べるスペースが設けられるなど、建設当時としては大変近代的な建造物でした。平成20年10月には、「造形の模範になっている」建造物であることが認められ、国の登録有形文化財に登録されました。

このことを受け、歴史民俗資料館の文化財としての更なる活用と施設の管理運営の充実を図るため、平成21年度からは平成18年度から導入していた指定管理者制度を廃止し、管理運営を草加市教育委員会の直営としています。

当館では、2,692点（平成28年度末）余りの資料を収蔵しています。平成25年4月16日には来館者20万人を達成し、平成28年度末（平成29年3月31日）には、合計262,264人の来館者となりました。

草加市立中央図書館

開館年月：平成12年4月1日

所在地：草加市松原一丁目1番9号

電話番号：946-3000

FAX番号：944-3800

構造・面積：鉄骨・鉄筋コンクリート造地上5階建

専有面積 4,803.54 m²

【平成29年度 図書館運営方針】

中央図書館では、地域サービスとしての図書館ネットワーク網を活用し、生涯学習社会の基本となる市民の知的要求に広く応えるとともに、市民それぞれの生活課題解決に必要な情報収集の場として、多様できめ細かなサービスを提供します。

特に、全国的な読書離れが叫ばれる中、魅力ある蔵書のほか、IT機器の活用や次世代の読書習慣を目指す読み聞かせやブックトーク等の読書推進活動を展開し、図書の利用拡大に努めます。

また、適正な施設の維持管理及び館の運営に努め、快適な利用環境を提供します。

これらを踏まえ、平成29年度においては以下を重点施策として図書館を運営してまいります。

- 1 社会情勢の様々な変化に伴って多様化・高度化する利用者ニーズに応えるため、資料の整備・充実に努めます。
- 2 調査研究から身近な疑問に応ずるとともに、市民の生活課題解決の支援となるレファレンスサービス（参考調査）の充実に努めます。
- 3 障がいにより、読書や図書館の利用に不便を感じる人に対する読書支援活動を推進します。
- 4 子どもの読書活動推進のため、児童サービスの充実に努めます。
- 5 市域全体の読書活動を推進するため、地域開放型図書室及び中央図書館サービスコーナーにおける蔵書の充実に努めるほか、学校及び大学との連携を推進します。
- 6 図書館利用の促進及び読書活動の推進のため、各種文化事業を実施します。
- 7 快適な読書環境を提供するため、図書館施設・設備の適切な管理運営に努めます。

【平成28年度利用状況】

1 入館者数・登録者数

(単位：人)

開館日数	入館者数			登録者数（過去からの総延べ数）			
	一般室	児童室	合計	一般	学生	児童	合計
302	459,258	88,671	547,929	143,094	26,238	14,373	183,705

2 貸出冊数

(単位：冊・点)

中央図書館					公民館・文 化センター	地域開放 型図書室	サービ ス コー ナー	合計
一般書	児童書	雑誌	AV資料	計				
595,793	201,948	25,669	42,175	865,585	115,599	15,402	157,526	1,154,112

3 蔵書場所別・資料種別蔵書冊

(単位：冊・点)

	一般書	児童書	図書計	雑誌計	CD	カセット	ビデオ	DVD	AV計	総合計
中央図書館	388,876	81,654	470,530	15,014	9,531	170	1,247	1,741	12,689	498,233
公民館・文 化センター	17,712	21,719	39,431	167	0	0	0	0	0	39,598
サービ ス コー ナー	12,940	63,316	76,256	0	0	0	0	0	0	76,256
合 計	419,528	166,689	586,217	15,181	9,531	170	1,247	1,741	12,689	614,087

IV 人權教育

人 権 教 育

1 学校教育における人権教育

(1) 教育活動全体をとおしての人権教育の取組

- ① 人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、同和問題を始めとする様々な人権問題を解決しようとする児童生徒の育成を図っています。
- ② 人権教育の着実な実践を図るために、児童生徒及び地域の実態を把握し、同和問題を始めとする様々な人権問題を解決するための具体的な目標を設定し、人権教育全体計画を作成し、実践しています。
- ③ 児童生徒の発達段階を踏まえ、各教科はもとより道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の年間指導計画に人権教育を位置付け、実践しています。
- ④ 豊かな人権感覚を身に付け、主体的に行動できる児童生徒を育てるため、全教職員の共通理解を図り、教育活動全体をとおして一人ひとりを大切にする授業の在り方についての研究を推進しています。
- ⑤ いじめや仲間はずれのない、お互いに協力し合う明るい学級づくりに努めています。

(2) 人権を尊重する教育の徹底と啓発活動の取組

草加市人権教育推進協議会と協力し、啓発活動を推進しています。特に、同和問題に関しては、部落差別の解消の推進に関する法律の基本理念を踏まえた取組の実践に努めています。

- ① 人権教育主任研修会
- ② 人権教育授業研究会
- ③ 初任者教員人権教育研修会
- ④ 3年次教員人権教育研修会
- ⑤ 学校管理職人権教育研修会
- ⑥ 人権教育校内研修会
- ⑦ 人権を考える市民のつどい
- ⑧ 草加市人権文集『なかま』の発行
- ⑨ 草加市人権標語ポスターの作成
- ⑩ 現地研修会の開催

2 社会教育における人権教育

社会教育の各分野において、同和問題を始めとする様々な人権課題に対して、総合的かつ計画的な人権教育・啓発を推進し、市民一人ひとりが人権尊重の理念に対する理解を深め、全ての人々が相互に存在を認め合い、尊重し合う平和な社会の実現を目指しています。

特に、同和問題に関しては、部落差別の解消の推進に関する法律の基本理念を踏まえた取組の実践に努めています。

(1) 公民館での人権教育講座の開催

市内6か所の公民館・文化センターで人権教育講座や講演会等を行い、様々な人権問題に対して理解を深めていけるような学習プログラムを設け、市民が学習できる場を提供しています。学習方法についても、人権啓発ビデオの視聴を取り入れるなどの工夫をしています。

(2) 人権教育講演会の開催

講演会・研修会等を開催し、また、草加市人権教育推進協議会を始めとした団体・機関等と共催することで幅広く人権教育の推進を図るよう努めています。

- ① 人権を考える市民のつどい
- ② 企業内人権・同和問題研修会
- ③ 現地研修会の開催 ほか

(3) 吉町集会所事業

吉町集会所は、同和問題を始めとする社会人権教育を推進し、市民の会議、集会等に供するために設置されており、施設運営については、地域の関係団体・機関から選出された運営委員会を中心に行います。

① 子ども教室、女性教室、成人教室の開催

各教室において人権学習会を取り入れることにより、人権意識の高揚が図れるよう努めています。

② 吉町集会所まつりの開催

吉町集会所利用団体による成果発表、人権教育講演等を行い、人権問題に対する理解をより深めながら利用者同士の交流を図ることで、平和で住みよい社会が形成できるように努めています。

吉 町 集 会 所

開 館 年 月：昭和58年4月

所 在 地：草加市吉町三丁目9番24号

構 造 ・ 面 積：鉄筋造2階建 延床面積 281.51 m² 敷地面積 578.63 m²

V 資料編

草 加 の 教 育 の 沿 革

年度	月日	主 な こ と が ら
昭和 61	4月 1日	指導課と青少年課を統合し、指導・青少年課に改編
	6月 7日	奥日光自然の家を開設
	8月	川柳小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催
	10月 1日	(財)草加市体育協会が設立
	2月 20日	遊馬町個人所蔵の文明十七年弥陀一尊画像月待板碑を市指定文化財に指定
62	7月 31日	青少年健全育成市民会議が発足
	8月 1日	語学指導助手を初めて採用
	8月 25日	高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱北勝海関が参加
63	8月 21日	新栄中学校第18回全国中学校バスケットボール大会で優勝
	8月 22日	花栗中学校第18回全日本中学校バレーボール選手権大会で優勝
	10月 15日	草加市民管弦楽団が発足
	11月 1日	新草加市民憲章・草加市歌を制定
	11月 5日	第1回奥の細道国際シンポジウムを開催
	11月 13日	中日友好バレーボール親善試合を開催
平成 元	7月 7日	草加平成塾を開塾
	8月 21日	長栄小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱旭富士関が参加
	11月 24日	第1回国際ハープ・フェスティバルを開催
2	7月 2日	栄平成塾を開塾
	8月 25日	高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱千代の富士関が参加
3	4月 1日	社会教育課を生涯学習課と改称
	8月 24日	清門小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催
	7月 18日	新田平成塾を開塾
4	8月 29日	西町小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱曙関が参加
	9月～	学校週5日制（月1回）を実施
	9月 24日	両新田平成塾を開塾
5	6月 22日	音楽都市を宣言
	10月 18日	八幡北平成塾を開塾
6	8月 23日	小山小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催
	11月 7日	新栄平成塾を開塾
7	4月～	学校週5日制（月2回）を実施
	8月 22日	稲荷小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱武蔵丸関が参加
	11月 30日	瀬崎平成塾を開塾
8	8月 24日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催
	11月 26日	小山平成塾を開塾
9	8月 20日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催
	10月 31日	氷川平成塾を開塾
10	8月 22日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催
	11月 1日	清門平成塾を開塾
	10月 28日	札幌河岸公園内の甚左衛門堰を市指定文化財に指定
	3月 1日	青柳平成塾を開塾
	3月 19日	市指定文化財の甚左衛門堰が県指定文化財に指定
11	4月 1日	特色ある学校づくり推進事業を開始
	8月	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催
	11月 5日	長栄平成塾を開塾

年度	月日	主 な こ と が ら
1 2	4月 1日 8月 20日 11月 15日 2月 26日	草加市立中央図書館が開館 草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 新里平成塾を開塾 教育相談室が氷川町から松江一丁目（現在地）に移転
1 3	4月 9日 8月 26日	草加市立中央図書館来館者100万人を達成 記念体育館で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱武蔵丸関が参加
1 4	4月 1日 4月 1日 4月 1日 4月 1日 4月 1日 4月 1日 4月 1日 4月 1日 5月 8日 8月 7日 8月 9月 1日	指導・青少年課を、指導課及び青少年課に改編 学校週5日制が完全実施 勤労青少年ホームを教育委員会所管に改編 子ども週末活動支援モデル事業を開始 学校教育部、生涯学習部を新設。併せて、青少年課を新設 新学習指導要領が全面实施 学校評議員制度市内全小中学校で開始 八幡平成塾を開塾 安陽市と国際教育交流協議書を締結 草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 柿木公民館が新築移転、業務を開始
1 5	4月 26日 4月 8月 19日 9月 1日 9月 17日	冒険松原あそび場（プレーパーク）を開設 西町小学校新校舎で授業を開始 記念体育館で夏休みちびっ子相撲大会を開催 草加市学校安全の日（学校安全週間）を制定 全小学校に中央図書館サービスコーナーを開設
1 6	4月 7月 10日 8月 1日 8月 24日 9月 1日～ 10月 29日 10月 1日 10月 6日 10月 24日～ 10月 27日 3月 3月 21日	川柳小学校新校舎で授業を開始 柳島スポーツ広場の開放を開始 埼玉県東南部地域公共施設・生涯学習講座予約システム（まんまるよやくシステム）の運用を開始 谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 東地総田遺跡第二次発掘調査を実施 草加未来人サポート審議会が発足 全小中学校でアルミ缶の回収を開始 記念体育館で「まごころ国体－相撲競技」を開催 草加市生涯スポーツ振興計画を策定 冒険松原あそび場（プレーパーク）のプレーリーダーハウス完成
1 7	4月 6月 12日 7月 8月 27日 9月 9月 1日 9月 3日 9月 29日 10月 28日	教育に関する3つの達成目標を踏まえ「草加っ子の基礎・基本」を策定、実践開始 奥日光自然の家開設20周年式典を挙行 全校学力調査を実施 谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 公共施設及び学校給食調理業務機器等アスベスト調査を実施、撤去等安全対策に着手 全校校地内全面禁煙を実施 そうか市民大学を開校 草加一丁目北草加観音堂境内の正保二年草賀町銘板碑型線刻虚空蔵菩薩立像供養塔を市指定文化財に指定 草加中学校の体育館・給食棟が竣工

年度	月日	主 な こ と が ら
17	1 1 月 1 1 月 1 3 日 1 2 月 1 日	不審者による児童生徒被害の多発を踏まえ、安全安心の学校づくりに着手 綾瀬川出土の丸木舟の保存処理が完了し、歴史民俗資料館で展示を再開 獨協大学との連携により、同大学附属図書館の市民開放を開始
18	4 月 4 月 4 月 4 月 7 月～ 7 月 2 6 日 8 月～ 8 月 2 7 日 1 月 2 2 日 3 月 1 5 日	中学校学校選択制を導入 学校給食調理業務委託を中学校 2 校において実施 小学校 2 2 校区内にスクール・パトロールステーションを設置 草加中学校体育館の一般開放を開始 算数・数学学力向上プロジェクト「寺子屋事業」の開設 綾瀬川出土の丸木舟を市指定文化財に指定 草加宿開宿着手 4 0 0 年記念事業の実施（夏期巡回ラジオ体操、なんでも鑑定団 i n 草加、絵画展、俳句展等） 川柳小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 いじめ相談「草加っ子元気カード」を小中学校生に配付 谷塚小学校・谷塚文化センター完成竣工式を挙
19	4 月 1 日 4 月 9 日 4 月 2 4 日 4 月 4 月 4 月 8 月 8 月 2 8 日 9 月 1 0 月 1 日 3 月	草加市教育相談室を草加市教育支援室に改称 谷塚小学校新校舎で授業を開始・谷塚文化センター新庁舎で業務を開始 全国学力学習状況調査を実施 学校給食調理業務委託を新たに中学校 2 校で実施 A E D（自動体外式除細動器）を全小中学校の保健室に設置 市内 6 小学校区で放課後子ども教室を開設 奥日光自然の家の施設周辺に、野生動物対策のため電気柵を設置 谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 草加市立北谷小学校・花栗小学校の統合に向けた統合協議会を設置 青少年の居場所として青少年交流センターを開設 財務に関する事務の適正な執行のため、業務改善検討委員会の設置
20	4 月 1 日 4 月 1 日 6 月 8 月 2 0 日 9 月 1 0 月 2 3 日 1 2 月 3 月 3 月	学校教育部と生涯学習部を統合し、教育総務部を新設。併せて、学校教育課、学校施設・給食課を新設、体育課を市長部局に移管 業務改善検討委員会の意向を受け、教育委員会内部統制チームを新設 小中学校の耐震化計画を見直し、平成 2 5 年度 1 0 0 % 実施に向けた計画を策定 市制 5 0 周年記念事業「子ども議会」を開催 「草加っ子土曜寺子屋」の新設 歴史民俗資料館が草加市初の国の登録有形文化財に登録 教育委員会事務及び評価報告書を市議会 1 2 月定例会に提出 松原小学校の開校に伴い、北谷小学校及び花栗小学校が閉校 教育委員会発足 5 0 周年記念誌「草加の教育 5 0 年の歩み」を発行
21	4 月 4 月 4 月 1 6 日 7 月 7 月 8 月 9 月 6 日	松原小学校が旧花栗小学校で開校 高砂小学校新校舎で授業を開始 市内小中学校の耐震診断結果を公表 新型インフルエンザが猛威を振るい、7 月下旬から 3 月上旬までに小学生 5, 4 9 0 人、中学生 1, 9 5 9 人が罹患 瀬崎冒険あそび場（プレーパーク）を開設 新田小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 高砂小学校で地域開放型図書館を開設

年度	月日	主 な こ と が ら
21	10月 11月12日 3月 3月31日	高砂小学校が、草加市と都市山村交流（平成22年7月に姉妹都市締結）の福島県昭和村への修学旅行を実施。以来、平成22、24、25、26年度にも実施 新型インフルエンザの影響で、小中学校なわとび大会及び学校対抗相撲大会が中止 国の経済危機対策等の補助金を活用して、小学校に校務用及び教育用コンピュータを整備 新田西文化センターの完成に伴い、新田西公民館が閉館
22	4月1日 8月28日 11月 11月11日 3月 3月11日	新田西文化センターが開館 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱白鵬関が参加 草加市文化財保護基本計画を策定 草加市立中央図書館開館10周年記念として、「中央図書館文化講演会」を開催 松原小学校新校舎が完成 午後2時46分、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生 児童・生徒の一斉下校対応・引き取り対応を実施 各小中学校、公民館・文化センターに避難所を開設 食材供給が十分でない中、市内小学校においては、震災後も給食調理業務を継続して実施
23	4月8日 6月8日 8月28日 9月 11月～ 12月26日 2月 3月	松原小学校新校舎で授業を開始 学校における放射線量等の測定を開始 松原小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 旧松原小学校（旧花栗小学校）において、県東部地域特別支援学校（仮称）設置工事に着手 子ども達が日常的に過ごす施設や場所を優先的に放射線量の詳細測定と除染を実施 住吉二丁目所在の明治天皇草加行在所記念碑を市指定文化財に指定 草加市立中央図書館開館10周年記念誌を発行 草加市教育振興基本計画を策定
24	4月1日 4月1日 6月1日 8月 8月20・21日 8月25日 9月 3月	学校教育課及び学校施設・給食課を、学務課、指導課及び施設課に改編、子ども教育連携推進室を新設 学校適応指導教室「ふれあい教室分室」を川柳文化センター・谷塚文化センター内に開設（平成25年3月31日閉室） 草加市立中央図書館で雑誌広告事業を開始 「いじめ防止」のためのリーフレットを作成 栄中学校全国中学校体育大会の体操競技団体で3位入賞 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱白鵬関が参加、主催の草加市青少年相撲振興会創立30周年を記念し、土俵入りを披露 栄小学校校舎改築工事に着手 草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画を策定
25	4月1日 6月～ 6月21日 8月28日 8月30日	埼玉県立草加かがやき特別支援学校開校 草加寺子屋（土曜学習）を市内公共施設4会場に加え、市内小学校全校で開催 藤城家住宅店舗・内蔵・外蔵が国の登録有形文化財に登録 「いじめ撲滅サミット」を開催 谷塚小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催

年度	月日	主 な こ と が ら
25	1月1日 1月2日 1月24日 2月 3月 3月18日 3月31日	草加市立中央図書館に「ドナルド・キーンコーナー」を開設 栄小学校新校舎が完成 瀬崎の富士行及び富士塚を市指定文化財に指定 「目指す『草加っ子』(草加市幼保小中教育モデル指針)」「草加市幼保小接続期モデルプログラム」「草加市小中連携モデルプログラム」を策定 「草加市学校におけるいじめの防止等のための基本的な方針」策定 草加松原が「おくのほそ道の風景地」の一群をなすものとして、国指定名勝に指定 新里文化センターの完成に伴い、谷塚西公民館が閉館
26	4月1日 4月8日 5月24日 7月～ 7月 8月30日 2月 3月7日	新里文化センターが開館 栄小学校新校舎で授業を開始 草加市文化会館で名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」指定記念式典を開催 市内小中学校の普通教室及び音楽室へのエアコン設置が完了し、稼働開始 青柳小学校・小山小学校が、試行として姉妹都市の福島県昭和村への自然教室を実施 小山小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 「目指す『草加っ子』(草加市幼保小中教育指針)」「草加市幼保小接続期プログラム」「草加市小中連携プログラム」を策定 草加松原遊歩道内にドナルド・キーン氏揮毫による国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の標識(記念碑)を建立。同日、除幕式典を開催
27	4月1日 7月 8月30日 1月22日 2月 2月	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、新教育委員会制度へ移行 青柳小学校・小山小学校・八幡小学校が、試行として姉妹都市の福島県昭和村への自然教室を実施 川柳小学校で夏休み草加っ子相撲を開催 移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律に基づき、「いのちの絆をつなぐ教育」として豊かな心推進事業講演会を開催 第二次草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』を策定 第二次草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画、草加っ子にこここわくわくプラン(草加市乳幼児期保育・教育課程)、草加市小中学校教育課程指導資料(算数・数学)を策定
28	6月24日 7月 8月23日 8月24・25日 10月16日 11月24日 2月2日 2月 3月	草加市立小中学校自然教室30周年記念式典を挙行 新田小学校・花栗南小学校・八幡小学校が試行として姉妹都市の福島県昭和村への自然教室を実施 草加中学校で夏休み草加っ子相撲を開催 栄中学校全国中学校体育大会の体操競技男子団体が優勝 中央図書館で小学生によるビブリオバトルを開催 新田中学校区小中一貫教育研究発表会開催 川柳中学校区小中一貫教育研究発表会開催 草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム7教科等を策定 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」保存活用計画を策定

草加市の指定文化財

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
市	富士浅間神社本殿 (建造物)	1 棟	間口 2.32m、奥行 3.60mの一間社流造(いっけんしやながれづくり)。随所に豊富な彫刻を配した天保年間の建物で、宮彫(みやぼり)彫刻の技法が優れている。	瀬崎 3-3-24 富士浅間神社	昭和 51 年 11 月 15 日
市	六角宝幢形経筒 (工芸品)	1 口	筒身及びその台。筒身は 6 枚の長方形の銅板(縦約 9.5 cm、幅約 2.5 cm)に分かれている。六角宝幢(ほうどう)形は全国的にも珍しく、学術上貴重なものである。	柿木町地内	昭和 51 年 11 月 15 日
市	東漸院山門 (建造物)	1 棟	本堂の表門で型式は四脚門。規模は表柱間 3.16m、妻 3.58m。この山門は江戸中期以降の建物であるが、彫刻に迫力があり、また、よくまとまった四脚門の好例である。	柿木町 1286 東漸院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	宝積寺木造千体地藏 (彫刻)	1,000 体	勝軍地藏、両脇侍地藏、小地藏。江戸後期の造立と思われるが今日まで、完備した姿で伝えられているのは珍しく、貴重な存在である。	金明町 169-1 宝積寺	昭和 52 年 8 月 8 日
市	泉蔵院十三仏石像 (歴史資料)	13 体	十三仏像が個々の形体で、それぞれ独立の立像として彫刻、配列されているのは他に類がなく、貴重である。享保 6 年(1721)造立の銘あり。	新里町 313 泉蔵院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	泉蔵院六地藏石仏 (歴史資料)	6 体	六道別各尊名を刻した六地藏石仏とその供養塔。元禄 4 年(1691)の造立。六地藏としての体系を具えたもので、創立当初からの姿態をよく保存している。	新里町 313 泉蔵院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	関根家所蔵歴史資料 (歴史資料)	40 点	近世及び明治初年の篠葉村関係の文書。検地帳、村絵図、持高帳、その他。保存がよく、草加周辺の雰囲気をよく伝えている。また、草加宿の資料が明治の大火で大半を失っている中で、重要な史実が見出せる可能性のある資料群である。	弁天 5 丁目地内	昭和 52 年 8 月 8 日
市	野島家所蔵歴史資料 (歴史資料)	77 点	草加宿村の近世史を解明する上で大変重要であり、市史研究にとって基礎的な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 54 年 2 月 20 日
市	旭神社算額 (歴史資料)	1 面	この算額は、県下でも古い方であり市唯一の算額である。奉納者の系統も明らかであり(宮城流)、珍しい貴重な文化遺産であるが、近年文字の退色が進行し、読み取ることが困難となっている。現在は、算額のレプリカが歴史民俗資料館にて展示されている。	金明町 1333 旭神社	昭和 54 年 2 月 20 日
市	東福寺鐘楼 (建造物)	1 棟	江戸末期の、よくまとまった寺院建築物である。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 55 年 3 月 22 日
市	十三仏板碑 (歴史資料)	1 基	板碑(いたび)は中世の地域社会を理解する上で、かけがえのない資料である。十三仏は市内唯一のものである。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 55 年 3 月 22 日
市	長堀家所蔵歴史資料 (歴史資料)	48 点	江戸時代の旧新里村における旧体制から近代化への夜明けと苦悩が浮彫りにされる、重要な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 55 年 3 月 22 日

<お知らせとお願い>

- ・掲載している文化財には、非公開のものもあります。必ず所有者の許可を得てから見学するようにしてください。
- ・文化財を火災から守るため、文化財周辺での喫煙はご遠慮ください。
- ・文化財を傷つけたり、周囲を汚したりしないでください。
- ・一部の指定文化財は事情により掲載していません。

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
市	題目板碑 (歴史資料)	1 基	碑の中央に「南無妙法蓮華経」の題目が彫られており、右に北朝年号の至徳 3 年(1386)の年号が彫ってある。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 55 年 3 月 22 日
市	寛永十三年山王二十一仏庚申塔 (歴史資料)	1 基	板碑型で寛永 13 年(1636)丙子(ひのえね)の紀年銘を持つ。草加市域はもとより隣接市区で、最も古い貴重な中世資料である。	稲荷 4-3-23 慈尊院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	寛文二年地蔵(庚申)立像 (歴史資料)	1 基	高さ 95cm の丸彫り型であり、寛文 2 年(1662)と、市域では最も古い、貴重な近世資料といえる。	弁天 6-7-24 観正院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	延宝六年地蔵(庚申)立像 (歴史資料)	1 基	高さ 142cm の光背型立像である。延宝 6 年(1678)と、市域で 2 番目に古く像容が優れている点が注目に値する。	弁天 6-7-24 観正院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	万治二年板碑型六地藏 (歴史資料)	1 基	万治 2 年(1659)の造立は市域で最も古く、板碑型の碑面に六体を収めた例にはない。	柿木町 1286 東漸院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	万治二年板碑型地藏立像 (歴史資料)	1 基	万治 2 年(1659)と、市域では最も早く造立され、その後の地藏像が丸彫りか光背型であるのに対して、他に例のない板碑型である。	柿木町 565 正福寺跡	昭和 56 年 1 月 31 日
市	八幡神社獅子頭 (工芸品)	雌雄一対	高さ 83cm の大型の獅子頭で、江戸末期の平面的な技法によって構成されているため、その時期に作成されたものと思われる。	高砂 2-20 八幡神社	昭和 56 年 1 月 31 日
市	東福寺本堂内外陣境彫刻欄間 (彫刻)	1 面	この欄間は職人芸で、経費・期間に制約がある中で、また、文献を参考に描くということの不可能な時代の所産にもかかわらず、技法がこまやかであり、構図・刀痕ともに、この地方の逸品である。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 57 年 2 月 22 日
市	東福寺山門 (建造物)	1 棟	この山門は、江戸時代木割(きわり)書によって造営され、細部は工匠の熟練した技術によって処理されている。また冠木(かぶき)上の彫刻も見事であり、彫工の非凡な刀痕がみられる。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 57 年 2 月 22 日
市	吉岡家所蔵歴史資料 (歴史資料)	1,540 点	幕末から明治にかけての金融関係の動向や明治中後期の東京との交換売買のありさま等、郷土史研究にとって貴重な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 57 年 2 月 22 日
市	新井家所蔵歴史資料 (歴史資料)	一括	この資料は草加市史上の重要人物の一人である新井孫助(あらいまごすけ)に関する貴重な資料だけでなく、近世と近代の草加の豪農、豪商層の成り立ちと在り方、当時の村落状況を伝える貴重な資料群である。	花栗 3 丁目地内	昭和 58 年 2 月 22 日
市	藤波家所蔵歴史資料 (歴史資料)	一括	資料は大きく分けて①草加せんべい、②豪農の家訓、③明治 10 年～20 年代の「草加人」の憲法学習、④日記に見る大正期の青少年の青春像の 4 編からなっており、その文献類はいずれも草加市の歴史を知る上で貴重な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 58 年 2 月 22 日
市	草加神社本殿 (建造物)	1 棟	間口 2.27m、奥行 1.91m、向拝(こうはい)の出 1.73m の一間社流造で、天保年間の造営。豊富な彫刻も立川流の絵様を採用している建物である。	氷川町 2118-4 草加神社	昭和 58 年 2 月 22 日
市	日枝神社本殿 (建造物)	1 棟	間口 1.51m、奥行 1.34m、向拝の出 1.15m からなる一間社流造で、彫刻充填式の建物である。	吉町 3-9-24 日枝神社	昭和 58 年 2 月 22 日

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
市	手代町面芝居資料 (有形民俗文化財)	シャグマ 8点、 面14点、 衣装22点	神楽舞だけでなく、面芝居(めんしばい)を演ずるのがこの地方の神楽の特色であったが、面芝居が上演されなくなって久しい。完全な形で保存されており、民俗芸能を知る上で貴重な資料である。	住吉1-11-29 歴史民俗資料館	昭和59年3月14日
市	弘安六年弥陀一尊板碑 (歴史資料)	1基	弘安6年(1283)は市域で最も古い板碑であり、中世の地域社会を理解する上で、かけがえのない資料である。	住吉1-11-29 歴史民俗資料館	昭和59年3月14日
市	享禄五年弥陀一尊 画像庚申待板碑 (歴史資料)	1基	庚申待板碑(こうしんまちいたび)は市域でこの1点が確認されただけであり、造立も享禄5年(1532)と古く、中世の地域社会を理解する上で、貴重な資料である。	柿木町地内	昭和60年3月28日
市	文明十七年弥陀一尊 画像月待板碑 (歴史資料)	1基	月待板碑(つきまちいたび)は、一般に例が少なく、市内においては現在この1点が発見されただけで、造立年代も文明17年(1485)11月23日と、市内の月待関係石刻資料としては最も古く、中世の地域社会を理解する上で、貴重な資料である。	遊馬町地内	昭和61年2月20日
県	甚左衛門堰 (建造物)	1基	明治27年(1894)から昭和58年(1983)までの約90年間使用された、二連アーチ型の煉瓦造水門。煉瓦は古いタイプの横黒煉瓦(鼻黒・両面焼煉瓦ともいう。)を使用しており、建設年代から見てもこの種の煉瓦を使った最後期を代表する遺構である。また、煉瓦でできた美しい水門は、周囲の景観にとけ込み、デザイン的にも優れたものであり、建設当初の姿を保ち、保存状態が極めて良く、農業土木技術史・窯業技術史上でも貴重な建造物である。	神明2-145-1ほか 札幌河岸公園	市指定 平成10年10月28日 県指定 平成11年3月19日
市	正保二年草賀町銘板 碑型線刻虚空蔵菩薩 立像供養塔 (歴史資料)	1基	この供養石塔は「草賀町」の文字がある石物資料としては、現在知られている中で最も古いものとして注目される。また、草加市域では数少ない「虚空蔵菩薩立像」の線刻尊像である。	草加2-13 北草加観音堂	平成17年9月29日
市	綾瀬川(旧新田村) 出土丸木舟 (歴史資料)	1基	昭和4年(1929)、綾瀬川のしゅんせつ工事中に見つかった。約5300年前・縄文時代前期のものとして推定される。帯状の剝り残しによる横梁を有し、今後、丸木舟の構造を解明する上で重要な資料である。	住吉1-11-29 歴史民俗資料館	平成18年7月26日
国	草加市立歴史民俗資料館(旧草加小学校西校舎) (国登録有形文化財<建造物>)	1棟	大正15年(1926)に建設された、埼玉県では初の鉄筋コンクリート(RC)造校舎である。昭和54年度(1979)まで草加小学校の校舎として利用され、その後昭和58年(1983)に歴史民俗資料館として開館した。造形の模範になっている建造物であることなどが評価され、平成20年(2008)10月23日付けで、市では初、県では123件目の「登録有形文化財」となった。	住吉1-11-29 歴史民俗資料館	国登録 平成20年10月23日
市	明治天皇草加行在所 記念碑 (歴史資料)	1基	「中大川」と呼ばれた大川弥惣右衛門家は、明治9年(1876)の奥羽巡幸及び明治14年(1881)の東北・北海道巡幸の際に明治天皇の行在所として指定された。昭和8年(1933)には史蹟名勝天然記念物保存法に基づく史蹟に指定され、翌9年(1934)、これを記念し草加町が明治天皇草加行在所記念碑を建立した。行在所は平成4年(1992)に解体され、現在では記念碑が行在所の所在地及び中大川家の由緒を伝える貴重な資料となっている。	住吉2丁目地内	平成23年12月26日

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
国	藤城家住宅店舗・内蔵・外蔵 (国登録有形文化財<建造物>)	各1棟	藤城家住宅は、日光街道の宿場・旧草加宿のほぼ中央に位置する。街道に面して建つ「店舗」は高さがあり、屋根の軒先は出桁造、開口部は立格子で装飾された風格ある趣の昭和初期の商家である。 「店舗」の後方には、母屋に組み込まれた重厚な土蔵造りの「内蔵」と、明治初期の建造と伝える「外蔵」が建ち、奥行きが深い、草加宿の典型的な町屋景観を残している。 国土の歴史的景観に寄与していることが評価され、平成25年(2013)6月21日付けで、「登録有形文化財」となった。	高砂2-48-1	国登録 平成25年6月21日
市	瀬崎の富士行及び富士塚 (民俗文化財)	—	富士山信仰を基盤とするもので、一般的には「富士講」と呼ばれているが、19世紀中頃からの伝承を伝える瀬崎では「富士に行く行為」が最重要要素であるとの認識のもと、あえて「富士行」と表記することになったものと伝えられている。 また、富士山信仰において、誰でも富士参拝ができるよう築かれた人工の山や塚を富士塚と呼ぶ。瀬崎の富士塚は大正5年(1916)8月に築造されており、現在も信仰の対象となっている。	草加瀬崎3-3-24	平成26年1月24日
国	おくのほそ道の風景地 草加松原 (名勝)	—	草加松原は、綾瀬川沿いにある約1.5kmの松並木であり、旧草加宿の北側に位置する。江戸時代から日光街道の名所として知られてきた。 寛永7年(1630)の草加宿開宿時、もしくは天和3年(1683)の綾瀬川改修時に松が植えられたとの伝承が残されている。 松尾芭蕉の『おくのほそ道』に関連する名勝地が、後世の人々の風致景観に影響を与え、今なお往時の雰囲気伝える一連の風致景観として評価され、一群として名勝に指定されたものである。	栄町1丁目ほか	国指定 平成26年3月18日

教育委員会関係附属機関委員

(平成29年7月1日現在 順不同、敬称略)

草加市奨学資金貸付審査会委員（4人）

水澤 郁夫 小林 和広 若林 秀次 帛溪 文有

草加市立小中学校通学区域審議会委員（15人）

福田 誠一 村山 伸二郎 盛武 加奈 田中 恭子 小野 良一郎
市川 雅保 浅井 壽雄 白石 隆夫 菅野 光三 野村 真一
船戸 姿子 磯谷 正雄 生明 茂 河上 良治 菅生 日出子

草加市立小中学校の学校医等公務災害補償認定委員会（3人）

石井 保雄 内藤 毅嗣 宮尾 努

草加市いじめ問題対策連絡協議会（15人）

山田 真理子 山田 徳行 唐澤 晃 鈴木 道夫 興水 功
橋本 政幸 高橋 昌夫 川上 登 帛溪 文有 林 義憲
須田 剣司 石川 敬事 杉浦 めぐみ 関根 秀一 和田 卓

草加市いじめ問題調査対策委員会（4人）

野村 武司 豊泉 清浩 山越 悟 岡村 理恵

草加市障害児就学支援委員会委員（15人）

成田 奈緒子 浜田 正子 富田 直 山本 美貴 石川 智子
小林 寛子 長谷川 毅 壽福 亜耶 山根 明 中村 常雄
加藤 治 柴崎 ひとみ 東 あやの 柳田 優子 三宅 英俊

草加市社会教育委員（14人）

谷脇 純子 中村 俊臣 梶尾 勝則 鈴木 芳和 木村 孝三郎
本多 恵子 根守 晶 榎本 明子 福田 求 青山 鉄兵
飯島 和久 石井 武 細川 美佐子 嶋根 繁

草加市文化財保護審議会（6人）

石岡 憲雄 堀内 仁之 高橋 操 岡本 一雄 譲原 純子
高梨 真行

草加市公民館運営審議会委員（13人）

百瀬 皓	山本 多美子	渡辺 美津江	瀬尾 寛	福田 常一
塩脇 洋	金井 日出雄	三橋 清	森口 和總	木村 功
今泉 正之	後藤 一彦	羽田 洋一		

草加市立図書館協議会委員（11人）

水澤 節子	川原田 一郎	中島 清治	堀 美紀子	松岡 尊子
犬塚 寿子	鉢山 京子	高野 日出代	三澤 江津子	橋本 奈津子
安保 昇				

学校教育関係等一覧

○小学校

No.	学校名	所在地	電話番号	校長名	教頭名
1	草加小学校	住吉一丁目11番64号	927-3568・3569	中村俊臣	岩渕健志
2	高砂小学校	中央一丁目2番5号	924-3425・3426	三浦伸治	山村一晃
3	新田小学校	旭町六丁目12番11号	941-3087・3172	森田恵子	土屋貴一
4	谷塚小学校	谷塚仲町440番地	925-2422・7105	小櫃真人	早津次仁
5	栄小学校	松原一丁目3番2号	941-2164・2124	今泉正之	長野典子
6	川柳小学校	青柳七丁目27番10号	931-5025・5024	菅野光三	赤坂佳美
7	瀬崎小学校	瀬崎二丁目32番1号	924-9656・9657	浅賀利一	田代義明
8	西町小学校	西町270番地	924-7245・7246	森田郷子	坂本拓也
9	新里小学校	新里町759番地	924-7248・7249	河野健	菊地直樹
10	花栗南小学校	花栗四丁目3番1号	941-2854・2835	佐々木毅	磯川剛
11	八幡小学校	八幡町65番地	936-6293・6294	興水功	長谷川晃
12	新栄小学校	新栄四丁目959番地	941-2189・2188	三好正浩	岡田安弘
13	清門小学校	清門三丁目37番地1	941-6755・6756	石崎明子	野原修 大澤英雄
14	稲荷小学校	稲荷五丁目11番1号	936-5855・5856	柳武尚広	永沼次郎
15	氷川小学校	氷川町448番地	928-6771・6772	西垣内きよみ	皆川賢司
16	八幡北小学校	八幡町1148番地	936-0773・0774	村山岳視	奥村勇
17	長栄小学校	長栄一丁目762番地	942-9874・9875	水澤節子	平野晴彦
18	青柳小学校	青柳三丁目17番1号	931-0899・0894	益岡和正	村田隆一
19	小山小学校	小山二丁目8番1号	941-1701・1702	山根明	渡部涼子
20	両新田小学校	両新田西町55番地	927-8411・8412	鈴木輝子	加藤治
21	松原小学校	松原四丁目2番1号	941-3214・3996	入内島均	小林和美

○中学校

No.	学校名	所在地	電話番号	校長名	教頭名
1	草加中学校	氷川町2179番地4	925-5201・5202	並木正成	高橋整
2	栄中学校	松原三丁目3番1号	941-2587・2589	橋本政幸	遠藤淳一
3	谷塚中学校	谷塚上町62番地	925-2421・3456	中村常雄	中谷浩一
4	川柳中学校	青柳七丁目35番1号	931-5827・5828	車浩	分須清博
5	新栄中学校	新栄一丁目33番地	941-5034・5035	川原田一郎	高安健次
6	瀬崎中学校	瀬崎五丁目3番1号	927-6297・6298	川崎淳一郎	橋本哲
7	花栗中学校	花栗四丁目15番12号	941-5833・5835	野村真一	阪田晴紀
8	両新田中学校	両新田西町368番地1	924-5051・5052	水澤郁夫	土谷守人
9	新田中学校	長栄一丁目767番地	942-9872・9873	笠井誠司	平澤俊一
10	青柳中学校	青柳八丁目58番10号	936-4001・4002	及川祐一	佐久間郁男
11	松江中学校	松江三丁目14番33号	936-9903・9904	小林和広	小林一男

○高等学校・大学等

No.	学 校 名	所 在 地	電 話 番 号	校 長・学 長
1	埼玉県立草加高校	青柳五丁目3番1号	935-4521	梶 尾 勝 則
2	埼玉県立草加南高校	柳島町6番地	927-7671	松 村 和 則
3	埼玉県立草加東高校	柿木町1110番地1号	936-3570	坂 井 修 義
4	埼玉県立草加西高校	原町二丁目7番1号	942-6141	高 橋 誠
5	埼玉県立草加かがやき特別支援学校	松原四丁目6番1号	946-2131	小 池 真 也
6	獨協大学	学園町1番1号	946-1641	犬 井 正

○私立幼稚園・認定こども園

No.	幼 稚 園 名	所 在 地	電 話 番 号	園 長
1	谷塚幼稚園	瀬崎二丁目37番3号	928-0410	小 倉 惠 照
2	ルミ幼稚園	住吉一丁目6番22号	928-0016	小 野 真 理
3	認定こども園 あずま幼稚園	遊馬町430番地	925-1741	丹 羽 義 昭
4	いなり幼稚園	稲荷四丁目22番6号	931-4949	鈴 木 禮 子
5	かおり Karuna 認定こども園	氷川町1080番地1	928-4489	梶 溪 文 有
6	草加みどり幼稚園	栄町三丁目3番12号	936-0815	吉 田 栄 子
7	青徳幼稚園	青柳七丁目19番26号	936-5560	堀 田 やよい
8	ひかり幼稚園	松原二丁目1番1号	942-1015	谷 脇 純 子
9	草加ひまわり幼稚園	松原三丁目1番1号	941-2215	中 本 順 子
10	草加藤幼稚園	松原四丁目4番2号	942-1626	山 本 恭 子
11	新田幼稚園	金明町650番地	942-5516	柴 多美世
12	谷塚おざわ幼稚園	谷塚町1328番地1	927-2828	小 澤 尚 久
13	草加氷川幼稚園	氷川町675番地	925-3006	平 野 徳 枝
14	みのべ幼稚園	北谷二丁目31番1号	941-8252	美濃部 やよい
15	草加ひので幼稚園	中根二丁目12番35号	931-1880	堀 江 鈍 也
16	清門幼稚園	清門三丁目12番1号	942-5880	高 橋 富士江
17	フラワー幼稚園	西町1005番地1	925-4121	大 野 良 行

児童・生徒数等の推移

(各年度5月1日現在 単位：人・校)

年度		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
児童・生徒数	小学校	12,030	12,128	12,279	12,509	12,767	13,099	13,412	13,677	13,936	13,925
	中学校	5,884	5,753	5,633	5,523	5,367	5,360	5,338	5,567	5,651	5,894
学校数	小学校	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
	中学校	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
年度		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
児童・生徒数	小学校	14,118	14,148	14,137	13,940	13,617	13,410	13,160	13,105	12,829	12,623
	中学校	5,881	6,081	6,140	6,410	6,549	6,555	6,547	6,425	6,380	6,209
学校数	小学校	22	22	21	21	21	21	21	21	21	21
	中学校	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

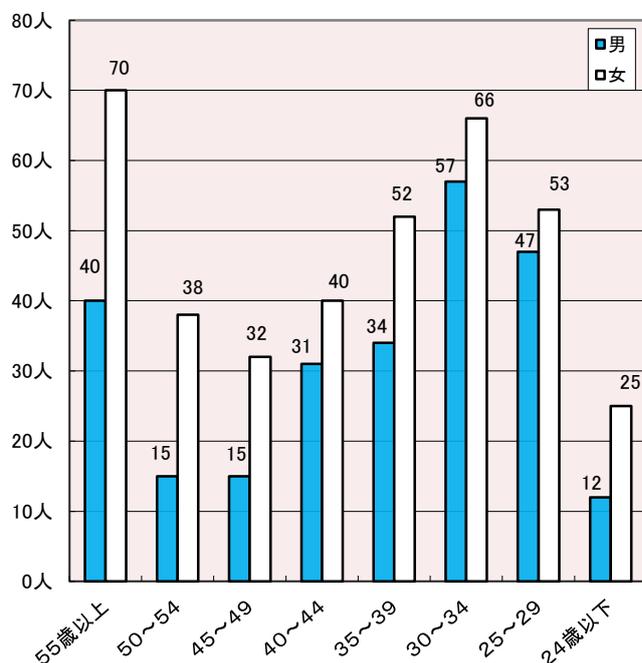
教職員の年齢構成・男女比

(平成29年5月1日現在、県費負担教職員)

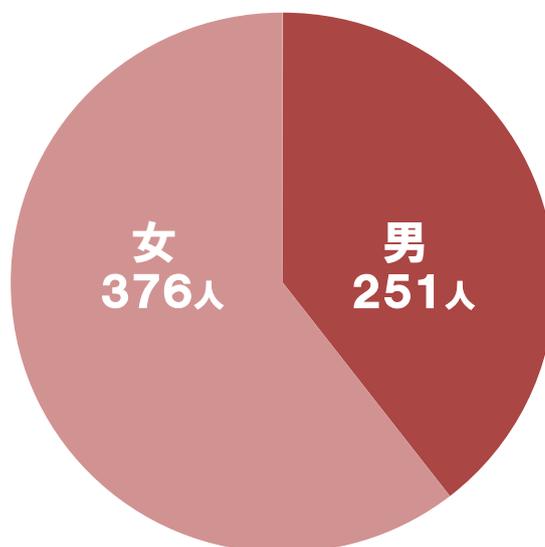
(年齢は平成30年3月31日現在)

小学校 (627人)

年齢構成

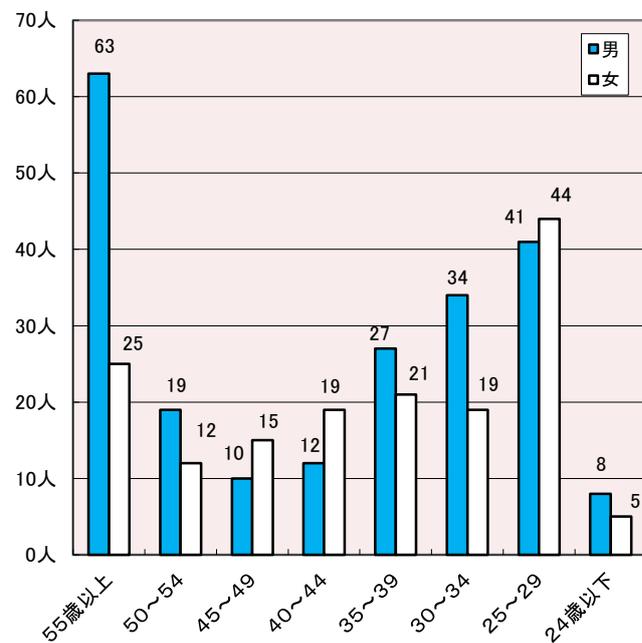


男女比

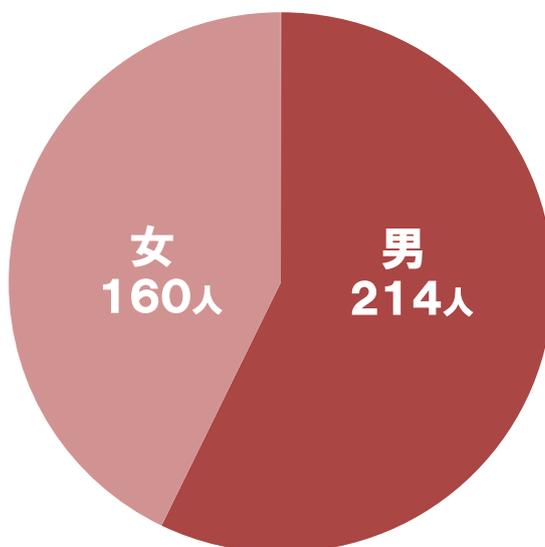


中学校 (374人)

年齢構成



男女比



小・中学校施設状況

(平成29年4月1日現在)

No	学校名	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	全教室数 (保有教室数)	屋内運動場 (㎡)	プール面積 (水面積) (㎡)	グラウンド 面積 (㎡)
1	草加小学校	14,200	5,393	32	890	375	7,620
2	高砂小学校	25,357	11,697	45	1,475	385	8,088
3	新田小学校	15,032	6,017	32	901	385	7,058
4	谷塚小学校	17,311	8,603	41	985	390	6,260
5	栄小学校	19,081	8,600	38	938	385	9,304
6	川柳小学校	22,971	5,761	32	899	385	10,415
7	瀬崎小学校	16,602	5,211	32	916	375	6,788
8	西町小学校	18,909	6,703	34	922	375	7,136
9	新里小学校	15,189	6,432	36	897	375	5,756
10	花栗南小学校	15,666	5,800	29	883	375	6,969
11	八幡小学校	22,735	8,059	42	908	375	9,626
12	新栄小学校	16,500	5,989	29	888	375	7,628
13	清門小学校	14,837	7,121	43	902	375	7,473
14	稻荷小学校	16,324	4,858	26	902	375	8,647
15	氷川小学校	16,430	6,780	34	949	375	7,746
16	八幡北小学校	15,441	6,055	30	934	350	8,746
17	長栄小学校	16,029	5,429	27	860	350	7,496
18	青柳小学校	12,888	4,708	28	1,121	350	6,039
19	小山小学校	14,123	4,991	25	936	350	8,656
20	両新田小学校	14,568	4,996	27	936	350	8,095
21	松原小学校	18,338	8,009	30	851	345	7,635
計		358,531	137,212	692	19,893	7,775	158,576
1	草加中学校	21,506	5,755	38	2,095	425	7,448
2	栄中学校	26,479	5,803	30	899	325	15,153
3	谷塚中学校	22,591	7,505	37	897	375	9,471
4	川柳中学校	20,180	5,156	30	852	325	7,364
5	新栄中学校	15,819	6,005	35	919	375	6,291
6	瀬崎中学校	17,702	6,055	34	945	325	9,943
7	花栗中学校	17,078	6,674	31	891	325	8,599
8	両新田中学校	17,564	5,740	29	936	325	12,067
9	新田中学校	17,581	6,664	28	939	325	9,647
10	青柳中学校	17,063	6,651	30	930	325	8,598
11	松江中学校	17,302	6,992	27	800	325	9,383
計		210,865	69,000	349	11,103	3,775	103,964

平成29年度 草加の教育

平成29年7月 発行

編 集 草加市教育委員会総務企画課

発 行 草加市教育委員会

草加市高砂一丁目1番1号

TEL 048-922-0151(代)

FAX 048-928-1178



草加せんべいマスコット
「パリポリくん」